

女性のくらし実態アンケート まとめについて

(1) 全支部参加、1550人の回答 2022年9月、10月、11月実施

女性部総会がコロナで開けず、支部女性部代表者会議と文書連絡でのとりくみとなり、不十分な点も多々ありました。それにもかかわらず、全支部参加、1550人の回答（過半数突破）、602件の生の声がよせられたこと、年金者組合の力、仲間のがんばりを実感しました。

みなさん、本当にありがとうございました。

(2) 組合員とのつながりを作れているか、組合員の声を聞いて運動できているか

- 組合運動の基本そのものを考えさせられる取り組みとなりました。郵送や新聞ルートで集められる支部はやはり日常的なつながりが作られていると思います。また、女性部の体制を強化してとりくみ、パソコンの得意な人を巻き込むことができた支部もありました。男性が大いに協力してとりくんだ支部も多くありました。一方、配布も回収も集約もなかなか大変だった支部もありました。
- それでも、寄せられたアンケートの1通1通から、数は力、数は1人1人の積み重ね、人を大切にしているサークル活動、女性たちの声、イキイキした姿も見えてきました。全支部が参加できたことの意義は本当に大きいし、今後の女性部活動強化にも結びたいものです。
- 今回アンケートに参加できなかった方、全組合員、広く高齢者の声と力を集められる組合でありたいと再認識させられました。

(3) まとめの考え方…なによりも女性のくらし実態がわかるものに

- 全体グラフ、収入から見たクロス集計の2種で「見える化」し、端的なコメントをつけました。
- 多くの方に全体像を伝えたいと思い、共通して出され特徴的な声を項目毎に抜粋しました。
- 全文602件36188字の「声」は支部毎に掲載しました。
- 全組合員に結果をお届けするために、A3版カラーでグラフ(表面)、さらに抜粋した「声」(裏面)を、3月の機関紙に折り込みます。ジェンダー平等の視点からも、女性だけでなく全組合員やアンケート参加者全員に届け活用しましょう。

(4) 特徴点

- グラフにしてみると、なにより驚いたのは月収10万円以下が46%(2018年調査では36%)、年金削減が具体的に見えたことです。毎年削減されてきた年金、積み重なってこんなにひどいことになっていることがくっきり現れました。2ヵ月ごと支給や介護保険料の天引きなどから、アンケート現場では年金額や年金種類を再確認しながら記入してもらう苦労もありましたが、あらためてきちんと調査を積み重ねて行くことの大切さを知りました。「声」では「朽ちる家を見ていると自分と重なる。これ迄社会に貢献してきた方々に優しい制度であってほしい」「食費だけでも足りない、本当に本当に苦しいです」と胸が締め付けられるような実態、実感が語られています。ぜひ「声」全文や抜粋をお読みください。
- 項目の立て方で、年金種別では「国民年金のみ」「国民年金と厚生年金」と正確に答えられるように工夫を。実感を問う項目では、とくに「何とか普通」ってなに?、「いくつ以内に〇印」と明確にする、家族構成も「記入式に」などの意見が寄せられました。今後に活かしていきます。
- 「何とか普通にくらししている」は、数字的には69%ですが、これこそコメント②の「普通」ってなに?や、「声」を見てください。いろんなことを我慢して、通院や買い物も不便で、家の修理など考えられない、そういった状態は決して「普通」ではありません。それを放置政治は許せないと痛感します。

- また、自分の大変さだけでなく子どもや孫の働き方、暮らし、障がい、将来を心配し、「孫が私の年金を頼りにしている」「安心して死ねない」という声も、いくつも寄せられました。
- 「負担感の大きいもの」1位が国保料や介護保険料、2位食費、3位税金、4位水光熱費でした。これらは、生きるために削れないもの、国や自治体に取りられるもの、自分ではどうしようもないものです。
「声」の中では「今まで経験したことのない息苦しさ。」が語られています。この調査は9月10月を中心に行われただけに、そのあとから爆発的な物価、光熱費の暴騰が起こったことも、踏まえておかねばなりません。
- さまざまなグラフを裏付ける生の「声」、そこに本質があります。ぜひお読みください。
そしてそれは、アンケートに参加された1550人だけの声ではありません。生々しい、具体的な、高齢者みんなが実感している声です。「だから、暮らしを変えたい。政治を変えよう。年金者組合と一緒に」とみんながみんなに語り広げていきましょう。
- また、コミュニティバスや公営住宅、補聴器要求、マイナンバーカード、バスの路線名をあげて、〇〇団地と明記して、田畑維持や獣害問題など、支部地域の特徴的な声も寄せられています。各自治体や各議会にも具体的に申し入れ、要求運動を強化しましょう。
各支部のとりくみへの感謝や注文も出ています。「サークルが生きる力」「役員さんありがとう」「何をしているかわからない。もっと知らせて」の声も。ぜひ応えていきましょう。
- いくつかの支部から、アンケート集約のパソコン教室を開いてほしかったとの意見が寄せられました。そうだったと反省し活かしていきます。

(5) 今後の活用について

…中央発行の「聞こえますか…いまここにある窮状」と合わせて

- ①支部毎での集約をしましょう。手書きでもできます。支部のまとめを府本部に送ってください。
- ②全組合員に結果をお知らせし、また組合員でないがアンケートに参加してくれた200人余りの方へも報告を届け、仲間づくりに結びましょう。
- ③年金裁判でも活用しています。
- ④自治体交渉を、府としても各自治体支部でも実施しましょう。
- ⑤各支部、サークル、おしゃべりの中で、読みあい感想を出しあい年金学習へ結びましょう。
- ⑥まわりの女性団体や団体女性部へ、結果を届け話し合い、共闘を強めましょう。
- ⑦統一地方選挙にむけて、女性の低年金問題の政策化を多くの候補者に呼びかけましょう。
- ⑧なによりも、まともな暮らしのできる年金の実現へ、大きな組合をつくり大きく運動を展開しましょう。

●支部別回収率

丹後	51.2
宮津与謝	50.0
舞鶴	40.9
福知山	37.6
綾部	37.5
船井	70.0
北桑田	25.0
亀岡	64.7
北上	59.0
左京	46.2
中京	65.0
下京	42.2
南	33.1
東山	48.5
山科	67.5
右京	51.4
西京	92.2
伏見	18.6
向日	65.2
長岡京	55.7
大山崎	50.0
宇治久御山	39.0
城陽	59.6
八幡	38.9
綴喜	54.3
相楽	86.4
府	50.7

女性のくらし実態アンケート（2022.9～11 実施）の「声」602 件からの抜粋（90 件）

年金

- ①月 5 万円です。食費だけでも足りません。本当に本当に苦しいんです。
- ②障害年金（厚生）2 級とアルバイトで生活していますが、だんだん体力も落ち、主治医にもこれ以上増やすなと言われて、心細くなっています。3 年に一度の年金の審査が怖い！
- ③国民年金のみで家賃を負担している人は、どうやって、やりくりしても到底やっていけない。生きていくことが難しい。制度として最低限の年金の保障をするか、生保を約束する必要がある。企業の内部留保金を活用するべきか。
- ④年々控除後の振込額が下がり、介護保険料、個人住民税、所得税などあきれます。消費税とわずかな年金から次々と、何重にも吸い取られています。どうなっているのか！住居も老いて、あちこち修理が必要となる頃に年金者となり、朽ちる家を見ていると自分と重なります。これ迄社会に貢献してきた人に優しい制度であってほしいです。生活の心配をせず暮らせる政策を！
- ⑤このまま年金が目減りし、人口を減り続ける日本に明るい未来が見えない。焦燥感がある。
- ⑥25 年間厚生年金払ってきたのに生活出来ない。
- ⑦年金削減政策の中で先の見通しが暗く、財布のひもを締めなおして買い物は 2, 3 日に 1 回に。子どもも自分の生活で精一杯、非正規なので将来を考えると心配。本人も不安に思っています。
- ⑧国民年金では無理。一人分の年金ではどうやっていくのか、考えるのもこわいです。
- ⑨年金のマクロ方式を取りやめてほしい。国民健康保険、年間 20 万円は厳しすぎる。
- ⑩国民年金ではとても暮らしていけない、普通にくらせる年金をと願うばかりです。生活保護より低いなんておかしい！税の不公平さを感じます。せめて消費税を下げるなどしてもらわないと、結局消費も伸びないし経済も回っていかないのではないかと。
- ⑪せめて生活保護並の年金に引き上げてほしい。
- ⑫20 代に病気でそれ以降アルバイトなので年金は非常に少ない。保険料、介護保険料を引かれた後、医療費に使用して少しの残金です。「ガン」で 11 年、日赤で、後は様々な病が出て検査料が高くて残るものも少々です。物価、敬老パス代、医療も高くなる一方、年金から引かれるのがあり大変な日々です。富裕層は別にしても、困っている庶民の暮らしを考えてほしい。
- ⑬自分が年金を受給するまでは、制度がこんなに改悪され、受給が先延ばし、受給額が減少されているとは知りませんでした。ですから体はしんどいのですが、続けられる限りと仕事を続けている現状です。物価の急上昇にも年金が減るのっておかしいですよ！
- ⑭国民年金の生活は非常に厳しい。国民年金の引き上げをお願いしたい。

くらし・物価

- ①普通に暮らしている」とは、病気をしていない、旅行はしない、服、化粧品は買わない、古本しか買わない、からで、一度何かあれば「苦しい」になるのは目にみえている。
- ②水光熱費を極力減らす努力をしている。コロナ禍で、演劇、映画等の文化活動、姉弟や孫との外出もしてないので、何とか暮らせているが、これが普通といえるのだろうか。
- ③次々当然のように便乗値上げ。買い控え。受容しにくく心理的にも不安と圧迫感
- ④草刈りも家の修理も自分ではできなくなってお金がかかる。
- ⑤次男夫婦（障害・病気持ち収入非常に低い）と同居。生活が苦しい。10 月から医療費窓口負担 2 割、物価は上がり、敬老乗車証は 2 倍、しかし年金は下がる一方。こんな政治許せない。
- ⑥最近の物価高にくらしがついて行かない、食費、光熱費、医療費の高騰はくらしを直撃します。なのに年金は削減され、食べることを我慢し、コロナ、熱中症、インフルエンザの中でもエアコンを我慢、医者通いも 2 倍になると回数を減らし何とか暮らしていた毎日も苦しくなって若者はそれ以上に、頼ることがむずかしくなりました。
- ⑦衣—何も買わない。食—あまり食べられない。住—電気水道節約しながら生活している。

- ⑧将来に常に不安が。病気したら、もっと年とったらと。安心して暮らせる政治をして。
- ⑨死ぬまで働き。生活保護受給か働かなければ終わる。江戸時代と変わらない！
- ⑩固定資産税、健康保険料、介護保険料 etc。朝の洗面は洗面器にためて、歯みがきはコップ2杯の水で。でもびびたるものですね。
- ⑪日々の生活は何とかできても、家電の故障による買い替え、車検などまとまった費用が必要になった時、消費税の大きさを実感。また、日々の買い物でも値上げをレジで実感する。
- ⑫貯金の残高とにらめっこ。社会保障の後退と各保険料の値上げ、詐欺にあっている気分。生きるための全ての物が値上がりし、今まで経験したことの無いような息苦しさを感じています。
- ⑬固定資産税・国保税等高くて厳しい
- ⑭値上げラッシュでこれからどうなるのか心配、体力が弱ってくる年齢、今までの支出では済まなくなってくるだろうに、収入が減る、高齢者は要らんとされるようでつらいですね。
- ⑮飲食店はお客様のもどりが 今一つで収入減。物価高で仕入れも大変でも価格はあげられません。消費税を下げしてほしい（できれば無くしてほしい）
- ⑯1人暮らしになったとき生活していけるか心配である。

医療・介護

- ①102歳の義母を9月に見送りました。どれだけの医療費、介護費、、、介護者も大変でした。国民年金月35,000円の老人でした。入院させた時、パジャマ、パンツ、おむつ等のレンタル料が一日に1,000円以上かかることに驚きました。78歳入院月7万円、着替え等のレンタル料が3万円程かかり、すっかりびっくりしました。コロナ禍で家族は面会も出来ず、洗濯物も持ち込めず、お金だけがかさみます。何とかしないと次は私達に直接かかってくる負担です。
- ②後期高齢者保険料が高い(17万)、何とかならないのかな～。
- ③9月の医療費20850円窓口払い、これが10月から41700円です。年金削減でどう生活しろと言うのでしょうか。窓口負担を1割に戻して下さい。
- ④介護サービスをいっぱい使っても自宅介護では自分の自由がきかない。ショートステイをたのむと思うと2か月前から予定を入れて空きベット待ちになる。利用をしやすくして。
- ⑤年金が毎年下げられるのに腹が立ちます。色々支援が言われていますが、消費税減税するのが一番だと思います。医療費が2割になり大変。年をとってくると医療費がかかるのに何を考えているのでしょうか。夫を介護しています。週3回デイサービスに行ってます。介護費も色々上がっています。医療も月2回定期訪問を、歯科も訪問診療を受けていて2割になり大変です。政府は高齢者をもっと大事に見てほしいと切実に思います。私も腰痛のため通院したいのですが、介護の為通院できないことが多いです。
- ⑥さらに介護保険料が上がるらしい。介護をうけるのにもお金がかかる。軍事費より福祉に予算を使うべきだと思う。
- ⑦母を見送ったばかりで介護の大変さが身にしみました。介護制度が今以上に改悪されたらと自分のこれからは不安でなりません。
- ⑧訪問看護週3回1回1時間では不足。ショートステイも高く継続は無理。国葬に使う税金を年金に。
- ⑨10月から医療費の窓口負担が2割になり、リウマチの持病もあり大変苦しい。高齢性難聴で補聴器が必要でも高額で買えない。
- ⑩体のあちこちが痛くなり不安度アップ！子孫世代に明るい社会を繋いでいくことができにくい昨今を憂いている。歯科に行きたいが歩いて行きづらく我慢している。一人暮らしで90歳。
- ⑪独身なので、自分が動けなくなった時、介護制度はあるが、どうなっていくのか心配。特に最近の動きを見ているとケア労働者の労働条件が心配。
- ⑫介護保険、後期高齢者医療保険、市府民税等がたっぷり引き去られ、物価が上がり、医療費が2割になり、食料品と言えば夕方の割引の物や訳ありの品物ばかりを買っている。

- ⑬夫婦での国民健康保険の額が、夫が後期高齢者になり、私の保険料は少し減ったが夫がすごく高額、結局2人の合計が今までの2倍ほどになり困っています。
- ⑭医療負担が2割に。高齢になれば身体にガタがきて、医療費が高くなるのは当然のことに。軍事費を2倍にすることなど他国への脅威を増すことを考えず、誰とも仲良くの外交と未来のある働き方で国を治めてくれることを願います。
- ⑮診療科が年々縮小化されていると思う。安心して治療ができ、安心して介護を受けたい。
- ⑯10月から75歳以上の医療費本人負担が2割となった。年金は下げられ、医者にかかる事が多くなった者にひどい話だ。何カ所か病院に通うと1000円札がとんでいくのを実感する。政府への怒りをみんなでぶつけよう。
- ⑰国の制度で一定の収入があれば医療費2割、この一定の収入は低すぎます。生活するのに医療と介護が嫌でも必要になる年齢に追い打ちをかける悪政に「棄民」としか言いようがない。

まちづくり・交通・家など

- ①「イズミヤ」がなくなると高齢者のたまり場がなくなり困る。買い物難民も沢山おられる。
- ②原付バイクが交通手段だが2024年で切れてしまう。他の交通手段が少なく困る
- ③交通問題、市のバスがなくなり、買い物などタクシーで約2000円。なんとかしてほしい。
- ④年金収入が月額にして10万、家賃が7万近くなので、ずっと賃貸を探しているが、年齢で断られる。「公的住宅（近場で）を単身老人に解放してほしい」というのが最大の願いです。
- ⑤数年位前から家全体が傾いています修理をするのは今更遅い感です、私の体力が有りませんので家が先か命が先かが今の現状です。
- ⑥車に乗れる間はいいが、のれなくなったら医者通いもできない不安。免許のきりかえ、どうしたものかと悩む。市役所へ行くため、加茂から直通のバスを！
- ⑦免許を返してから、中々交通便が悪く、デマンドバスも間人止めとか前の日に予約しないとダメとか福祉タクシーも中々帰りはダメとか・・・暮らしにくいです！
- ⑧電機器具の老朽化・家の修理・車修理・物価高・給湯器交換など毎月万のお金が必要。医療費の2倍加。家計簿をつけているが、消費税が年間20万以上になる
- ⑨毎月赤字で預金を年70~100万取りくずし。これからの暮らしどうなるのだろう。生活して行けません。屋根も老朽化いつ修理するか不安。水漏れも発生。誰に聞いても不安だらけ。
- ⑩娘の給料と年金暮らし、築30年の自宅 自宅補修等に不安。食費のみの生活です。
- ⑪高齢者施設の充実と拡充。地域とつながった活動が必要。
- ⑫高齢者が気軽に会場費も安く集まれる場所がほしい。敬老乗車証制度元に戻してほしい。交通費負担。左京区高野川付近で空き地が一杯ある、マンションでなく福祉施設（公民館）などほしい。
- ⑬蛍光灯の取替は、危険が伴うので府の方でやって欲しい。（府営団地に入居）
- ⑭コミュニティバスを走らせて欲しい。（買い物、病院行き）
- ⑮年金で入れる介護施設がもっと欲しい。
- ⑯訪問介護、デイサービス、リハビリ等、支援してもらっている。京都市の病院に行きたいが、介護タクシー等利用したいが、遠いので利用しにくい。
- ⑰美山診療所問題もあり、明治国際医療大学病院、京都中部医療センターともに遠方で、通いづらい。（希望の科も少ない）
- ⑱敬老パスが値上がりしたので申請辞めた。これからの交通費が心配！
- ⑲野生動物の被害。最近、熊が家の周りに出没。その他鹿、イノシシ、サル。
- ⑳日常生活は切り詰めているが、突発的な事、家の修理や病気等が出たときのゆとりはない。
- ㉑物価が上がるばかりの中、年金が下がり続け少しづつこの先の不安が増していく思いを強く持っている。田舎暮らしはまわりとの関係もあり不自由な面と土地や不動産の管理などで何かと煩わしいことが多く厄介。悩みの種。
- ㉒あと何年運転出来るか分からないが、免許証返納した後の通院手段がとても不安。

- ②買い物、通院と車がないと生活できない。、車の購入費用、車検費用…。
- ④日々の生活費は計画を立て何とかやっているが、田、畑、交際費、税金等で大変です。
- ⑤（夫と）二人とも足が悪く通院（府立病院）が大変。時間によりバスがなく、タクシーに乗るのは年金生活者にとって痛手です。
- ⑥安心サポートハウス等の増設をしてほしい。

家族・子ども

- ①正社員で45年働きました。今、孫が私を頼っています。
- ②自分の年金の事もだが、子供達の収入も不安、まして年金制度がどうなるのかと思うと・・・
- ③一年単位では、貯金を少しずつ切りくずしている。息子も非正規で低収入。夫の視力が0で同行援助を利用。住宅の壁の修理も無理。貯金が無くなった時のことを考えると苦しくなるが、息子の将来の方がもっと心配。
- ④娘家族への援助（教育費・生活費）があります。若い世代が普通に暮らしていけるよう授業料引き下げや、パート労働を取り巻く税制度の改善をして欲しいです。
- ⑤通所している息子の将来。人との付き合いが苦手であってもできる仕事は沢山あり、そんな若者が多くいる。マッチングサポートの制度があれば親も安心して死ねるのと思う毎日です。
- ⑥同居の息子は収入ゼロ。

女性・一人暮らしなど

- ①女性の地位の低さ、活動の制約（家事育児など）にいつもがっかりします。もっと女性が活躍できる日本にならないと…と
- ②男女不平等による賃金格差が、定年退職後にもずっと続くのが現状。これが改まらない限り女性の不利は是正されない。
- ③84歳になって夫を亡くし、ひとりぼっち。しっかりせよと自分を励まして生きています。足が動かさなくて遠出が出来ません。今は、まあ元気ですが、病気になったら大変です。
- ④夫婦2人なので普通に暮らしている。どちらか一方になれば、水・光・熱費等、生活に基本的に必要なお金が2分の1になるとは思えないので、ひとりになった時不安です。
- ⑤庭の掃除ができません。草刈りができません。

その他

- ①スマホ、保険証、免許、通帳…マイナンバーカードになんてとんでもない。カードはしっかりしまっておくようにだったのに持ち歩くなんて、忘れることが多い私なので怖いです。
- ②難聴で補聴器をつけているがそれでも聞き取りにくく年々難聴度がましてきている、耳鼻科や補聴器センターへ行って調整等してもらおうがー。何事にも消極的になってしまう。
- ③補聴器を買いたいが高額すぎるので躊躇している。
- ④急速なIT化で自分自身もまわりの高齢者の人たちが“情報難民”になったり、情報格差も生まれている。一億総監視社会になる危険性を感じています。
- ⑤物価は高騰、年金は下がる、医療費は10月から2割…一方、国葬に無駄金、軍事費は2倍化。この国は政治が無いのでしょうか？ 国民目線の政治家を選挙で選ばないとダメですね。
- ⑥世界の情勢もほんとに日本は大丈夫なのか？と不安です。戦争だけはなあってほしくない。

丹後

- ・現在は夫の年金も有り、現役時代貯金もあるから、何とか暮らしていますが単身になったときとか、将来は不安です。
- ・買い物はメモして余分なものは買わない。コロナで外出は控え、楽しみ娯楽費を削る
- ・ゆとりなどありません。ぜいたくせず、最低限に必要な出費常に意識しながらの生活です。
- ・心に余裕もてる金額がほしい。切り詰めて何とか暮らしている状況です。ゆとりのある生活がしたいです。年をとればとるほどゆったりと！
- ・年金のみの収入で土地家を継ぎ、維持していくのは大変苦しい。物価がすごく上がって生活費がすごくたくさんいる。
- ・何とか暮らしているが大きな出費となることには考えてしまう。自動車の維持費（2台、車検、保険、ガソリン代）住宅の改修したいところがあっても多額の費用になるので、老後の不安もあるので考えてしまう。冬期間の暖房費用。
- ・同居の息子の仕事が見つからず親の年金で暮らしているの、ゆとりのある生活ができない（小旅行に行きたいなど）
- ・年金がこれ以上 下がると生活ができない。
- ・電気ガス水道代が高くて負担になってきた。非課税世帯への一時金支給よりも消費税を5%に下げてもらった方がいい。
- ・次男が京都で染屋をしているが、何年か前から新しいキモノを作る人がなくなり、収入がありません。家賃支払いができない月は次男に補助をしなければなりません。私の野菜づくりの畑を耕すことなどには手伝いにきてもらっています。
- ・病院入院時、保険外の負担が多い。タクシー(介護タクシー)を含め、利用しやすいものにしてほしい
- ・軍事費を社会保障費に組み替えてほしい
- ・保険料など取れるところから取る！おかしい！もっと他におさえられる国費があるのでは。
- ・毎年年金が減らされている。物価高騰のおり、75歳以上にも税金を負担させようとしている。軍事費を削って大企業に応分の負担を！岸田政権けしからん。こんな政府であっていいのでしょうか。戦争の足音が大きくなっている今、女性が立ち上がり、声を上げていかなければなりません。そんな運動に、地道に努力したいと思っています。
- ・介護サービスをいっぱい使っても自宅介護では自分の自由がきかない。ショートステイをたのむと思うと2か月前から予定を入れないと正規の予約には入れず、空きベッド待ちになる。2か月前からわかる会議の予定などあまりないので、京都市内に行くときは毎回空きベッド待ちでなければいけない。もう少しショートステイの利用がしやすくなればいい。
- ・年々控除後の振込額が下がり、介護保険料、個人住民税、所得税などあきれます。消費税とわずかな年金から次々と、何重にも吸い取られています。どうなっているのか！住居も老いて、あちこち修理が必要となる頃に年金者となり、朽ちる家を見ていると自分と重なります。これ迄社会に貢献してこられた方々に優しい制度であってほしいです。生活の心配をせず暮らせる政策を！
- ・今は特にないが、将来動けなくなったときに介護の心配。
- ・現在は夫と2人暮らしで何とか生活はしているが、1人になったら国民年金なので、生活ができるのか？と不安になる
- ・息子の仕事が見つからない為心配（77歳）
- ・住居が過疎のため、通院、買い物に不便。タクシー券の割引か無料券がほしい（83歳）

- ・外出は少なくして余分な買い物をしないようにしている。
- ・免許を返してから、中々交通便が悪く、デマンドバスも間人止めとか前の日に予約しないとダメとか福祉タクシーも中々帰りはダメとか・・・暮らしにくいです！
- ・病院の支払いが2割になり、困っています(88歳)
- ・現在は大勢の皆さんに支えていただき何とか普通に生活していますが、やがて運転免許証を返納したら、病気になったらどうしようかと不安は日毎につのります。(85歳)
- ・毎月病院に血圧の薬をもらいに行きます。病院に行くのも、畑に行くのも趣味の会に行くのにも車がないと困りますが、来年免許の切り替えがあり、いま迷っています。(97歳)
- ・足が悪くて歩くのが困難、現在支えあいタクシーを月に何回も利用するので、費用が重荷になっています。(93歳)

宮津与謝

- ・普通の月は何とかなるが、車検や自動車保険料がある月は赤字で苦しい。貯金が減ります。
- ・年金もっと受け取れたらよいのですが。
- ・今はまあまあでも将来を考えると年金暮らしは不安。
- ・草刈りも家の修理も自分ではできなくなってお金がかかる。
- ・パートに週3日出ている分が、普通にくらせる分に回っている。
- ・夫や自分が病気になった時のことを考えると心配ですが、あまり考えないようにしています。
- ・国民年金の生活は非常に厳しい。国民年金の引き上げをお願いしたい。
- ・補聴器の補助を
- ・役員さんががんばってくださるのでありがたいです。
- ・物価が上がり水道も上がって畑の水やりも大変。
- ・観光客を第1にした市の政策はおかしい。普通の市民が幸せに暮らせるように公民館などの充実や交通手段の改善に取り組んでもらいたいものです。
- ・交通問題、以前は市のバスがあったが今はなくなり、買い物などタクシーを利用すると約2000円はかかる。なんとかしてほしい。

舞鶴

- ・将来、働かなくなった時の備えを考えると、ゆとりがあるとは思えない。大きな出費にビクビクしている。(60代)
- ・医療、介護の保険料や費用が毎年上がり定期的に通院している者にはかなり影響がある。(60代)
- ・食費、電気、通信等、できるだけ節約して何とかやれている感じである。
- ・10年前に退職。今年に入り物価高(水道、ガス、食料品など)で余裕がない。(60代)
- ・日々の生活は何とかできても、家電の故障による買い替え、車検などまとまった費用が必要になった時、消費税の大きさを実感する。また、日々の買い物でも値上げをレジで実感する。(70代)
- ・現在夫が入院中で、医療費等(退院の見込みはない)がたくさんかかります。わずかな年金収入と自分のパート収入で生活しているが、年齢的にもいつまで働けるか不安である。(70代)
- ・食品の値上がりがすごい。割引の品に手が出る。(70代)
- ・夫婦2人とも国民年金と厚生年金なので、それほど苦しいとはいえないが、農業をやっているので農業支出があったり、機械関係(修理も含む)にけっこう必要だったり。毎月収入より支出が多く、蓄えをつかっていることが多い。(70代)
- ・車がないと生活できない。買い物、通院に必要なので車検費用、車の購入費用は、ほぼ全額長男

からの援助です。(70代)

- 物価はどんどん上がるばかり、年金支給は低くなっている中で、自己防衛するしかないと考えている。どこを減らすかといえば食費しかない。戦後の生活を知っているので辛抱している。しかし、今後貧富の差が出てくる世の中になるだろうと考えている。それでも生き方を少し変え、健康を大切に寿命がある間生きていく。(80代)
- 病気があると生活にも支障ある。特に10月からの医療費2割となると苦しい。(80代)
- 日々の生活費は計画を立て何とかやっていけるが、予定外の田、畑、交際費等が多く税金等で大変です。
- 年金と保険年金(80代)
- 10月から75歳以上の医療費本人負担が2割となった。年金は下げられ、医者にかかる事が多くなった者にひどい話だ。何カ所か病院に通うと1000円札がとんでいくのを実感する。政府への怒りをみんなでぶつけよう。(70代)
- 年金受給まであと3年半もあります。受給開始後のことよりも「今」の生活(働かないと無収入)のほうが大変だと思っています。(60代)
- 年金が減らされ、今後のくらしが不安です。特に舞鶴市政は老人にやさしくありません。(60代)
- 適切な情報がタイムリーに収集しにくい(情報不足)実態が、高齢者やひとり暮らしの人には多い。必要な情報を発信していくことが求められていると思う。特にコロナ禍でこの3年間程は情報格差も生まれている。(60代)
- (相談者ないに対して) 経済的な問題は自己責任とされていて相談しづらい。(60代)
- 相談や制度、しくみがわかりづらいです。今はほぼ健康だが、今後のこと(介護、病気の面で不安がある)。
- 平日は仕事をもっているため、活動に参加するのが難しい。
- 年金支給額がどんどん減っている。(60代)
- 介護保険料を減らしてほしい。
- 消費税を減らしてほしい。
- これからの生活について不安はたくさんありますが、仕事ができる間は働き続けたいと思っているので、高齢者が働き続けられるよう制度の充実や働ける環境を守ってほしい。(70代)
- 夫婦での国民健康保険の額が、夫が後期高齢者になり、私の保険料は少し減ったものの夫がすごく高額になり、結局2人の合計が国民健康保険料の時の2倍ほどになり困っています。(70代)
- 一人暮らしのため今後を考えると、家の処分そして施設入所等、認知症状がでたり身体が動かなくなる前にある程度見通しを持たなければ、という思いが強く、それに伴うお金のことを考えると日々ストレス。近い将来、具体的に行動すべきか、継続的に相談・アドバイスをしていただける部署なり機会なりが年金者組合内に位置づけられていると嬉しい。ちなみに一人暮らしでも、私は身寄りがないため切実な要求です。(70代)
- 暮らしの問題 不燃ごみの出し方、ふくろ、市道の脇道の草、支流の川の汚れ、猫、野良猫の放置。医療は紹介状がなくても診てほしい時、大病院へ行けるようにしてほしい。(特に紹介状代金不要に)
- 今の所2人暮らしなので特にないが、主人が病身なので将来の不安は大きい。(70代)
- 右足が変形性膝関節症で車の運転は何とかできるが、家事がこなせなくなっている。夫は無関心。人ごとのように何もしてくれない。(70代)
- 私は一人暮らしです。7万円の国民年金です。でも私は毎日が楽しいです。生活は苦しいですけど心は豊です。(70代)

- ・住んでいる地域がいなかなので、会場に出かける距離が遠いと困ります。なるべく中央で開催してもらおうと助かります。(70代)
- ・現在は2人で何とか暮らしているが、一人になった時の身のふり方に不安を感じている。(80代)
- ・免許返納の時期(体調含めて)が近くなっている中、活動するにあたって足止めとなると考えている。地域で仲間を増やし、近場で楽しみができるように。老人が利用しやすい交通機関を増やすようお願いしたい。(80代)
- ・10月1日より高齢者の医療負担を2割にしています。高齢になるほど身体にガタがきて、医療にかかることが多くなり、家計に占める割合が高くなるのは当然のことでしょう。軍事費を2倍にすることなど他国への脅威を増すことを考えず、誰とも仲良くの外交と未来のある働き方で国を治めてくれることを願います。(80代)
- ・ひとり暮らしなので孤独を感じる時がよくあります。日常的に何でも話ができる暖かい、つながれる活動を年金者組合に期待します。診療科が年々縮小化されているように思います。安心して治療ができ、安心して介護を受けたいです。(80代)
- ・ゴミ、不燃ゴミの分別が面倒なので簡素化して。ノラ猫が多く花壇の花が枯れる。(80代)
- ・「普通に暮らしている」というのは、現在病気をしていない、旅行はしない、服、化粧品は買わない、本は古本しかかかっていない、からで、一度何かあれば「苦しい」になるのは目にみえている。(70代)
- ・野生動物の被害。最近、熊が家の周りに出没。その他鹿、イノシシ、さる。(80代)

福知山

- ・二人とも、共済年金と国民年金で何とか成っているが、子どもや孫たちのこれからがますます大変になるのでは。
- ・介護保険、後期高齢者医療保険、市、府民税等をつぼり引き去られて諸物価が上がり、医療費が2割になり、食料品と言え夕方方の割引の物や訳ありの品物ばかりを買っている始末です。
- ・ガソリン代。食料品。ペットのえさ代の高騰が痛い。
- ・生活に必要なものが全て値上がりしている、ガソリン、ガス、水道代、食品この冬の灯油代、一年間でこの先どれ程になるのか？
- ・交通の便が無く不自由だ。
- ・あと何年運転出来るか分からないが、免許証を返納した後の通院手段がとても不安。(返納した)
- ・今後の体の状態により、介護が必要となれば、通院などが大変である。
- ・老後年金だけで暮らせるか心配
- ・年金をこれ以上減らさないでください。
- ・今後の事を考えると家の管理などで不安がいっぱい。
- ・夫が生きがいをなくして会話が少なく、散歩、外出も少なくなり難しくなる。
- ・世の平安、発展も不安がいっぱい！子、孫の将来も60年間の活動の結果がこれかと思うと、生きていたくない。
- ・102歳の義母を9月に見送りました。どれだけの医療費、介護費。介護者も大変でした。国民年金月35,000円の老人でした。入院させた時、パジャマ、パンツ、おむつ等のレンタル料が一日に1,000円以上かかることに驚きました。入院月7万円着替え等のレンタル料が3万円程かかりすっかりびっくりしました。コロナ禍で家族は面会も出来ず、洗濯物も持ち込めず、お金だけがかさみまます。何とかしないと次は私達に直接かかってくる負担です。ちなみに、私の経験上のことですが、レスパイト入院制度やラウンドケアなど知らない人が多いので、介護のし易い制度の学習、交流が

必要です。

- ・これからの日本はどうなるのでしょうか、不安です。国会議員の方々、国民の事を考え後期高齢者も人間です。生きていかななくてはなりません。もっと国全体が税金の使い道を考えて政治を行って頂きたいです。
- ・この物価高で、年金を引き下げるなどもってのほか。年金を引き上げてほしい。
- ・憲法 25 条にいう、最低限度の文化的な生活が出来る程度に。
- ・敵基地攻撃のための、大軍拡に出す税金はノー。国民の日常生活を豊かに。

綾部

- ・夫婦二人なので普通に暮らしている。どちらか一方になれば、水、光、熱費等、生活 基本的に必要なお金が二分の一になるとは思えないので、一人になった時不安です。いくつかの団体に入っているとそれぞれの会に会費を払わねばならず、合計するとかなりの額になります。特に年金者組合は会費が高く困っています。自分が困るだけでなく、誰かに加入を進めるのもちゅうちょします。
- ・息子夫婦と同居しているので、今のところ何とか暮らせている。
- ・物価高、水、光熱費が高い。
- ・将来に、常に不安が有ります。
- ・病気をしたら…と年をとったら…安心して暮らせる政治をしてほしい。

船井

- ・最近の物価高に暮らしがついて行かない、食費、光熱費、医療費の高騰は暮らしを直撃します。それなのに年金は削減され、食べることを我慢し、コロナ、熱中症、インフルエンザの中でもエアコンを我慢、医者通いも 2 倍になると回数を減らし何とか暮らしていた毎日も苦しくなって若者はそれ以上に、頼ることがむずかしくなりました。
- ・衣一何も買わない。食一あまり食べられない。住一電気代、水道代節約しながら生活している。
- ・医療費 2 割負担は重荷。
- ・私たち夫婦は、何とか生活しているが息子がひきこもり、体調不良で働けず将来が心配である。家族のことで交流するような機会を作ってほしい。
- ・高齢になるに従って人、社会との交流が減ってくる、年金者組合員の交流の機会を期待している。
- ・夫が前立腺がんの転移で毎日、高額医療費がかかる。市へ申請して上限の 1 万 8 千円支払いで済んでいるが、1 万 8 千円も多くてつらい。
- ・仕事をしないと生活ができない。年金が外国籍で有り、受け取れない。
- ・臨時の支出に困る。生活に余裕がなく自転車操業。
- ・どちらかが介護状態になった時のために、必要な資金、備えなどの話を聞きたい。
- ・歩行に杖が必要で不自由している、でも月 2 回のフラダンスにはいっている。
- ・健康への不安、通院、検査。
- ・足が痛くならないように、杖を使って歩いたりしているが時々洋式トイレのない所や、いすが有ったら良いのに、と思うなどもっとバリアフリーにしてほしい。

北桑田

- ・定資産税・国保税等高くて厳しい
- ・夫の介護が大変になってきた。訪問介護、デイサービス、リハビリ等、支援してもらっている。

京都市の病院に行きたいが、介護タクシー等利用したいが、遠いので利用しにくい。

- ・先輩の方が熱心に勧められて、長く会員として入っているが、会費を支払っているだけで、自分が積極的に活動は出来ていません。役員の方はいろいろお世話頂いているが、年金者組合の活動による成果がどのように会員に反映しているのか？年会費もかなり高額だが、交流の機会でもなれば？と思い、今まで在籍しています。
- ・毎日の生活の中で今のままではと思っている人が多いと思いますが？選挙になればなぜ自民党が圧勝するのでしょうか？
- ・美山診療所問題もあり、明治国際医療大学病院、京都中部医療センターともに遠方で、通いづらい。(希望の科も少ない)
- ・家屋の保守、農地の後継者

亀岡

- ・物価値上がり。兄弟や孫の交際費(78)
- ・貯金がない(73)
- ・オイルから始まり次々当然のように便乗値上げ。買い控え。心理的にも不安と同時に受容しにくく、圧迫感(76)
- ・貯金が減って行き先が不安(66)
- ・夫婦の年金、息子家族から食費10万もらっているのではなんとかなる(79)
- ・これ以上物価が上がると苦しい。息子が家から通勤して借家の家賃分を負担してくれているが通勤になれば全部払わねばならない、大変！(74)
- ・特別なことがない限り貯金には手を付けない(77)
- ・夫の給料、義母の年金、貯金切り崩し。子どもにお金がかからなくなったので何とかなくなっています(62)
- ・生活費は子どもが出している(89)
- ・うつ、コロナで入院。自営業は病気になると収入がほとんどなく、家が傷んだり家電が壊れたり(63)
- ・高血圧で定期受診、薬は必須、歯科メンテナンスなど健康でいるための出費を確保するために他を抑えています→ストレスがたまることも(72)
- ・物価、介護保険、国保料の高さ(66)
- ・もう少し年金があれば。気持ちの余裕がありません(80)
- ・ローンはないがぜいたくはせず、つつましい生活。旅行にはしばらく行っていません(78)
- ・健康な時は苦しくなかったが病気で入院や手術で医療費が多くなった。これからさらに負担が増えると思えば不安で心配(69)
- ・年金は下がり物価は上がる一方なので予想していた老後からするとゆとりがない(75)
- ・コロナで出かけることが少なく生活に使っているから苦しくない(68)
- ・今は苦しいが何とか。何か変わったことが起こればどうなるかというところです(73)
- ・余分なものを買わないようにメモをもっていく。そのメモのものを買おうとして値段にびっくり、買い控えを経験しました。年金は下がる一方、物価は上がる一方。消費税は下げるべきです(70)
- ・夫が仕事をやめたら大変苦しくなる。医療費、税金が高い(73)
- ・日本たばこで45年働きました。今、孫が私を頼っています。持ち家で住宅費が年間1万円程度なので何とか普通にくらしています(89)
- ・旅行や外食などめったにしない(72)

- ・夫、夫の母、私の年金でなんとか暮らしている、1人になったらとても苦しいと思う(65)
- ・値上げラッシュで家計の負担が大きい(63)
- ・実家の田畑山林からの収入はなく維持費が重く苦しい
- ・月5万円です。食費だけでも足りません。本当に本当に苦しいんです
- ・今は車で移動できるが免許返納した場合の行動手段が心配(78)
- ・女性の地位の低さ、活動の制約(家事育児など)にいつもがっかりします。もっと女性が活躍できる日本にならないと…と(71)
- ・後期高齢者保険料が高い(17万)、何とかならないのかな～。原付バイクが交通手段だが2024年で切れてしまう。他の交通手段が少ない中いろんな活動がしにくくなる(75)
- ・コミュニティバス、国道9号千代川—ガレリア—市役所—駅のバス停がほしい(70)
- ・長男障がい者のため今後は不安。発作のため目が離せず遠出ができない。作業所が休日の時は外出できない(66)
- ・今は夫も元気ですがこれからどちらかが病気になったときが心配です。(79)
- ・急病になったら困る(73)

北上

- ・年金だけではダメ、足りない。退職金を削って生活費に廻している。月20万おろすと、あと数年しか持たないので節約している。
- ・10→2303円
- ・以前、民医連の診療所に通っていた時は、病名が違っても(例：内科と耳鼻咽喉科)身体の訴えを聞いてもらえた。対処はできなくても対応の仕方を教えてもらえた。現在は、(一般の内科)「知らん」と言われて、不安になってきます。私がいけないのでしょうか。
- ・敬老パスが値上がりしたので申請辞めた。これからの交通費が心配!
- ・せめて今より年金額が減額されないことを切に願います。今は元気でほぼ医療費の支払いはないのですが、今後、加齢とともに負担が心配されます。
- ・やりくりをして年金内で生活ができているつもりでもわずかな貯金もいつの間にか少しずつ減っています。元気なうちは何とかかなと思いますが、どちらかが何かあったらという不安はあります。生活ができなくなることがはっきりしていますから。
私達はまだ二人の年金で合計したものですから何とかしていますが、持ち家でも固定資産税もかかりますし、市民税は年金が少ないので非課税になっています。もしかして、片方が死亡して一人分の年金では、生活していくことはできません。子供に頼るか家を売るとかになると思います。
- ・ほどほどではありますが、主人の仕事の収入も安定はしていないけど、たまに少し入っているようです。女の方が一人で年金生活されているのはとても大変だろうと思います。年金のタイプにもよるのですが、国民年金では無理です。私も私の一人分の年金ではどうやっていくのか、考えるのもこわいです。若い時にわずかですが個人年金を保険で準備もしていました。少しはゆとりをほしかったからですが、赤字の補填で消えた分のほうが多かったように思います。
- ・貯金の残高とにらめっこです。
- ・社会保障の後退と各保険料の値上げ、詐欺にあっている気分です。
- ・生きるための全ての物が値上がりし、今まで経験したことのないような息苦しさを感じています。
- ・健康で文化的な生活とは程遠い。特に70歳を過ぎてから医療費が増え食べるだけの生活になりつつあります。コロナも影響していると思いますが…
- ・できるだけ節約して貯金の切り崩しが少なくなるように暮らしていますが、今は元気でも、いつ

体調や生活に変化が有るかも…と将来が不安です。

- ・年金が低く、働かざるを得ない。同居の子供も非正規雇用なので低賃金で、貯金切り崩しも底をついた時が不安で、働くのも75歳で雇用が切れる、その後が…
- ・年金の引き下げをさせないように運動を強めたい。みんなの力を結集させる方法を年金組合として考えてほしい。
- ・住宅リフォームや歯科の費用で借金が有ります。
- ・署名活動や年金裁判傍聴などよく頑張っていると思います。カフェなど気軽に話せる場がもっとあればいいな～
- ・今回のアンケートを含め、支部による郵送を望まれるものは、料金後納で、支部負担にすべきではないでしょうか？
- ・開かれた介護者の社会が迎えられたらと思います。まだまだ理解に乏しい。年金だけで生きられません。
- ・介護保険の保険料が高い。医療費も高いので病気になれば困る。
- ・同居の息子が生活費（3万円）を払うので何とかなる。
- ・年金は2か月で14万円余りだが、他にも収入が有り食べることは何とか出来ている。今回、年金の振り込みが2680円増額になっている。年金が有ることが有り難く思っている。
- ・夫の介護
- ・家は自分のものなので固定資産税と庭（年2回）の手入れを家賃分として計上しています。あと、交際費が大きいかな。その時は、貯金から。
- ・今のところ月1～2回通院で済んでいますが、年齢を重ねると通院回数増になると思います。負担が心配です。
- ・以前の借金を返済している為と家のローンがまだ返済中の為
- ・二人の年金が有るから普通に暮らせているが、一人になれば全くだめだろうと思う。今回問題になっている京都市の敬老乗車証の倍の値上げをすることに怒りを覚えます。友達にも話をするのですが、メリットばかりを考える様子。みんなで力を合わせて運動を広げるところまでに考えが及ばないことに少しいらだちを感じます。どうしたら良いのでしょうか？
- ・長年かけていた保険会社の年金保険金が掛け金以上に現在もらえている。
- ・貯金を毎月少しずつ切り崩し何とか普通に暮らしている。
- ・年金支給額より物価高及び保険料の負担が大きい。年金のマクロ方式を取りやめてほしい。国民健康保険、年間20万円は厳しすぎる。
- ・独身なので、自分が動けなくなった時、介護制度はあるが、どうなっていくのか心配。特に最近の動きを見ているとケア労働者の労働条件が心配。
- ・現在の日常生活は、暮らしていけるが、将来施設入所など検討しなければならない時は、高額な支出に不安が有る。（月額17万円ぐらいの年金を受給しているが、それでも施設の費用はとてまかなえない位高額であり、矛盾を感じる）
- ・食べて寝て筋トレを行っているが、映画1000円ぐらい、演劇、コンサート、旅行とかの楽しみは控えてしまう。
- ・これから物価が上がっていて、どうなるか心配している。
- ・電気、ガス、水道、医療費が特に高い。何とかならないかと節約しているが高い。
- ・水光熱費が高い（電気、ガス、水道）何とか運動化できないかと思う。年金削減痛い。
- ・お役所も民間も、仕事内容が賃金のゆがみ、労働形態、労働時間のひどさ、良識の衰退により、信用できなくなっている。どこに何を頼めばよいのか、自分で信頼できる人や場所を探さなければ

ばならない。今後は心配。飢餓が広がり犯罪が増え自殺者も増え社会不安が世を覆う。子や孫が心配です。

- ・普通というのは何が普通か？ですが食住は、何とかなっているが、衣類や旅行習い事などはなかなかです。習い事 4000 円/月 労演などで 3~4000 円。未婚の息子（発達障害で作業所通所）障害年金 25000 円では親の亡き後が心配です。家庭菜園をしているので何とか回っています。
- ・通所している息子の将来です。人との付き合いが多少苦手であってもできる仕事は沢山あります。そんな若者達が多くいる。うまくマッチングをサポートしてもらえる制度ができれば親も安心して死ぬるのと思う毎日です。
- ・夫婦二人の厚生年金で何とか暮らしているが、何方かが亡くなれば老後破産になりかねない。持ち家であるがリフォームの時期でお金が要る。
- ・家賃支払いに半分以上の年金が使われる。
- ・介護保険料が年金より引かれるのがとても大きい。固定資産税もとても負担に感じる。
- ・高齢になり医療費が増して苦しい
- ・電気製品がよくこわれて困る。
- ・この先 どうして生活したらいいか不安有り。
- ・区内の高齢者の役員の方が時々尋ねたりしてくれ強く感謝しています。
- ・住宅ローンを夫の 60 歳の時に借りてあと、数年支払いを続けなければならない。後期高齢者保険料が高い。眼の治療が高額。固定資産税が高額
- ・医療保険の件で 1 割から 2 割、3 割と上がっていたのに 1 割のまま 1 年以上支払っていたらしく、18 か月の医療費の差額を 14 万円余り支払わねばなりませんでした。分割はダメと言われ大変でした。せめて数か月で言われたら良かったのと思います。
- ・持病で医療費が大。今後悪化しないか心配。

左京

- ・障害年金（厚生）2 級とアルバイト有償ボランティアで生活していますが、だんだん体力も落ち、主治医にもこれ以上増やすなと言われて、心細くなっています。3 年に一度の年金の審査が怖い！ヘルパーの時間が減って家の家事が大変です。
- ・9 月の医療費 20850 円窓口払いでした。これが 10 月から 41700 円です。年金いどう生活しろと言うのでしょうか。窓口負担を 1 割に戻して下さい。
- ・65 歳で住宅の借金を完済してから重荷が外れた気がする。65 歳で国民年金も受給でき、やっと満額の年金受給となった。夫婦 2 人で年金生活。2 人ともまだそこそこ健康で暮らしているのに、家計もまわっているが病気や認知症（これが心配）になった時が、お金も福祉も心配です。なんか京都市は息が詰まる感じがする。高齢者が気軽に会場費も安く集まれる場所がほしいです。敬老乗車証制度元に戻してほしいです。交通費負担です。左京区高野川付近で空き地がいっぱいあって、福祉関連施設（公民館）などほしいです。マンションはいらない。
- ・組合費を増やして要求運動をもっと活発にして、勝ち取っていききたい。遊びをもっと増やして楽しみながら活動したい。
- ・夫が亡くなり 1 人の年金では好きな物買えない。体が病気の為、どこも行けない。でもやっぱり寂しいです。
- ・次男夫婦（障害あり・病気持ち）と同居。生活が苦しい。（次男の収入非常に低い）10 月から医療費窓口負担 2 割となり物価は上がり、敬老乗車証は 2 倍、しかし年金は下がる一方。こんな政治許せない。組合員を増やし、楽しく元気ある組合にするようがんばりたい。

- ・(なんとか普通に暮らしているに○したうえで)ただ、親の介護費用があるので、老後使う予定だった退職金の国債をつぶしてあてている。自分たちの老後が心配。(どんどん制度も悪くなっている)
- ・貯金の切り崩しが続いているので先が不安でじわじわ苦しくなる。物価がどんどん上がっているのに政府が手当をしてくれない、年金は下がるのに無駄に税金を使っている(国葬など)。介護保険を多く支払っているのに介護保険がどんどん悪くなり、怒りを覚える。まわりの高齢者の方が多くなっているのに、要介護が切り崩されていく。自分の時はどうなるか心配。
- ・10日に一度買い物。毎日医者に行き注射。帰りに散歩1時間。帰って食事。夕方室内で30分足ふみ。なんでも自分で出来るので(生活のこと)困ることはない。
京都年金者組合様いつもなにかとお世話ありがとうございます。私は3年前から(金がないから節約)散歩週に6日血流の良い注射に医者に行く、コロナ感染がこわい、人には会わない、家には他人は入れない、子供孫もこない、でも1ヶ月1度長男が会いに来る。外はTELで友、姉弟と話す外はだれもありません。こんなことを書いてもアンケートにはなりません私の気持ちです。私1ヶ月に1度、葉書絵を描いて、友達に送って、自分の心の栄養にして1人暮らしなれました。明るく生きてます。
- ・介護保険が都合に○り、上がり方がきつく、来年10月迄かつつ(?)の生活です。男性社会はもうなんとかしないと!別姓の問題もしかりです。自由な社会を希みます。最低の生活の保障で、今、この社会で、出来ているとは思えません。年金の底上げを切望します。
- ・(くらしの実感で苦しいに○したうえで)親からの相続問題で親戚関係の断絶。売れない元自宅維持と新自宅の借家代金支払いで貯金切り崩ししている。
- ・困り事は、夫の関係の義父死亡後の相続に発していて、裁判所で決着した結果なのであきらめています。土地の隣との境界線問題もありますが、弁護士の対応にまかせています。経費がかかります。
- ・コロナで制限生活が続き、骨粗鬆症有る上に絵を描く時同じ姿勢が続き横に転んだ時脊椎の圧迫骨折を起こし痛みと安静生活が益々体の筋力低下を来たし生活の支えとなっていた絵が描けなくなった事が1人生活の不安、将来の不安が余病を引き起こし悪循環状況。現在は介護保険要支援でリハビリに通っている。
- ・家の修理にまとまったお金が要る。食品、光熱費など生活必需品が上がり続け苦しい。
- ・電化製品や家など修理する度に貯金から使っている。旅行に行く時にも貯金から使っている。いつまでも貯金があるわけでもない、いざお金が必要な時にどうなるか心配です。
- ・夫と2人分の年金を出し合って生活している。私一人の年金収入なら生活出来ない。
- ・消費税がこたえる。年金が下げられるのがこまる
- ・90歳になり心身共に弱ってきたことを実感しています。病院通いが忙しい。
- ・年金者組合に加入したものの、殆ど交流ナシ
- ・(くらしの実感の苦しいに○をした上で)5年前までは、ちょっと一泊程度の旅をしていましたが(6年に1度位?)ここ数年は年金値下げ、税や保険料の値上げで、全く出来なくなった。まずは健康維持の為に食費の充実を心掛け、○○の掛からないサークル等で精神安定を図っている。楽しく過ごすことを心掛け、病気の予防に心掛けている。医療費10月より2倍化で実生活がどの様に○○していくのだろうと、不安感が強まっている。これまでできえ、出費を極力押えてきている処ですが、予期せぬ、体調不良に見まわれたら、一体どうなることだろうと。回りで突然の事故や死に見まわれた話を聞くにつけますます不安感が増す。その上、年々年金支給の削減は強恐怖感さえ覚えます。なんとかストップしてほしい。衣食住が充ってこそ人間らしい生活と云える

のに。憲法が飾りものならぬ様。みんなの力で阻止させていきたい。

- ・高齢者●音施設(?) 居場所を作る運動を広げたい。安く使用 利用できる
- ・現在、定期通院はしていますが、特に問題なく暮らせていますが、人の名前、花の名前、その他の名詞が思い出せず困っています。認知症ではないと思うのですが?最後まで自宅で過したいと思っているので訪問介護の充実を希望しています。
- ・始末するくせがついているから普通に暮らしているが、物価値上がり 医療介護費用の値上がりがおそろしい。そのお金が軍事費に使われるのがさらにおそろしい。
- ・これ以上年金を下ないで。税金はもっと上手に使ってほしい
- ・(なんとか普通に○した上で) 持ち家なので日々の住居費がほとんどいらないので生活できていますが、家賃が必要なら苦しい生活だと思う。
- ・年金収入が月額にして10万の所を家賃が7万近くなので、ずっと賃貸住宅を探しているが、年齢で断られている。「公的住宅(近場で)を単身老人に解放してほしい」というのが最大の願いです。
- ・台風や突然の水害が身近にせまって来ている中、いざというときの避難
- ・物価高に見合う年金がほしいです。
- ・両親の墓じまい。お寺の共同墓地では80万円なので深草市民墓地に移した4万円。衣服は0円。光熱費とIT関係をきりつめ、文化教育費に。しかしコンサートホールではP席に。けがしたタクシー代大きかったです。コロナがこわい。公正証書遺言作成 年金からひかれる金額が大きくて手取りがじわじわ減ってガックリ。円安で利益少なくて税金あり。自分の口座から引き出しても手数料(〒局)。6月に大けがをしてリハビリ中。最近ふらついて5年前もらって、のこっていた血圧下げる薬を飲んだ。リハビリの先生曰く、「5年前の薬を飲むのはすすめられない」と言われました。「捨てられない」昔人間。せつやくしすぎですね。10月から治療費倍。右手首と右小指骨折で字がかけない。力入らない。よめない字ですみません。
- ・毎年、年金が減るのがけしからん。
- ・年金が少ない。生活が苦しいです。

中京

- ・通帳引き落とし以外の食費、交通費、交際費など子供から毎月6万で3人生活なので貯蓄出来ているが、将来のこと子供のことを考えると贅沢できない
- ・物価が全部びっくりするほど上がる、保険料とか敬老乗車証も、ものすごく上がる今は何とかだが、どんどん苦しくなっています。
- ・1人になったら年金では暮らしていけませんそれなのに年寄りからとることばかりの国や市、本当にひどい政治を変えるしかないと思います。
- ・生活保護を受けておられる方と、年金暮らしの方との差を目にした時、保護を受けている方は生活にかんして住宅(アパート家賃)その他無料になると知って、どう言うことですか?と言いたい。
- ・電球、蛍光灯の切れた場合高い所にあるので、取り替えどうしょう、1人暮らしだから、他にも色々あります。
- ・値上げラッシュでこれかたどうなるのか心配です、体力が弱ってくる年齢、今までの支出では済まなくなってくるだろうに、収入が横ばいどころか減る現状、高齢者は要らんと言われるようです。
- ・料理店のバイトをしています。(配膳)でも、もう膝が痛いのでつらい。
- ・3年前に脳卒中で入院、それ以来月1で通院、薬を飲んでいますが。少しの貯蓄とりくずし、年金少々

での生活、物価値上がり年金減、生活苦しくなりばかり。

- ・せめて生活保護並の年金に引き上げてほしい。
- ・日常の活動が苦になってきた。
- ・夫と2人いるから何とか生活できています。
- ・貯金を切り崩して毎月何とか生活しています。介護保険料が本当に高いと痛感しています。
- ・生活の色々なことが物価高老後の不安等暗い世の中になっています。世界の情勢もほんとに日本は大丈夫なのか？と不安です。戦争だけはなあってほしくない。
- ・現状の介護を見て保険料ばかり取られていざ自分が受ける時しっかり利用出来るか不安です。
- ・1人で何十年も暮らしている。
- ・日常生活でささいな事で困っている時に援助がほしい。パソコンの故障、家具の移動等。
- ・生活保護は下がるし、年金は下がるし、物価は上がるし、光熱費はあがる、寒空で毎日我慢してギリギリで体調もくずして何とかしてほしです。今のところ健康だが、これから先は不安です。有料施設に入らなければならないと、大金が必要だと、節約の日々です。楽しい消費生活なんてできません。
- ・物価高、医療費の2割負担はとても厳しく医者には毎月行くのをやめればと考えています。お医者者と相談します。
- ・今は何とか働いているからやっつけていけるが、年金だけならとても生活していけない。
- ・もうすぐ65歳。年金いくらもらえるのか相談に行ったらとても暮らせる額ではない。繰り下げしたら少し増えるが、繰り下げた分を取り戻すには、10年かかるたか、あんなに沢山給料から天引きされてこれだけと思うのがっくり。仕事やめて、年金だけで暮らす様になると今と同じ生活はとても無理、不安です。
- ・食費は極力切り詰め、衣類その他も全く買っていません。
- ・薬代が高い。今後受けられる可能性がどんどん減っていく、介護保険料を毎月払わねばならない。
- ・生活保護をもらっているのに、その中で暮らしていくのは当たり前かなと思っている。無年金で生活保護ももらっていない人の事を考えると何も言えない感じです。
- ・この年齢でも現役で働いているので、やや余裕があります。
- ・何とか暮らしているが、食料品の20%、30%、半額などのシールが貼っているものに手が出る。それでも毎回のレシート合計金額にびっくり。
- ・同居の末嫁の息子の扶養家族になり暮らしています。10年間努めていた銀行の退職時に知らない間に厚生年金が解約されていて後に掛けた国民年金月3万円だけです。
- ・娘の家へ食事作りに週3回行っています。
- ・夫が退職したが再雇用で働き、約1/3になったが毎月収入があるので何とか生活できている

下京

- ・相談 悩み事など気軽に行く気持ちになれない→敷居が高い？介護する人の交流の場、悩み事の交流の場があれば。何事も電子化・老人はついて行くのが困難・安くてパソコン教室などがあれば助かる。
- ・毎年、貯金が減って行って不安がある。もし大病したり認知症になったら、どうしたら良いか考えてしまう。食品は2~3割引の物を買って再冷凍したりして、その日のメニュー作りなど出来ない。
- ・介護保険料が高い。1000万/年収の人が上限となっていると聞き下京区に電話しますが、国の制度です、といわれる。夫が75歳になったら国保料にかかります。(現在は退職会社健

保) 高くなると思うと不安。国保料も 2000 万/年収の方が上限らしい。下限 200 万にしてもらいたい。200 万未満からは聴取しないでほしい。

- ・今年から敬老乗車証をもらい 大いに活用しています。9 月更新しましたが 1 万円になりました。高いと思いますがすでに 2500 円はらった分、3 万以上乗りました。この 1 年はあらゆる無料施設にも出かけて活用するつもりです。市の財政の有り方やホテル乱開発などは新婦人を通して活動していくつもりです。
- ・飲食は客様のもどりが今一つで収入減です。物価高で仕入れも大変。でも価格はあげられません。
- ・現時点では消費税を下げしてほしい (できれば無くしてほしい)
- ・自分の生活、親の介護などで毎月いっぱいっぱいの生活で年金は減らさないでほしい。
- ・高齢独居女性の貧困は もっとクローズアップされていていいとおもいます。
- ・苦しさに慣れてきた、というのが実情。
- ・余計なものは買わないよう、切り詰めてはいる。外食は減らし自分で作るようにしている。
- ・旅行や映画などは行けない。食べて古本を読むぐらいの生活です。文化的な要求は満たされていない。
- ・同居の子から 生活費としてもらっている。援助ではない。
- ・物価高で低所得者ほど打撃が大きい。ほんまに介護保険料高すぎる。なんとかしてほしい。

南

- ・年金、遺族年金では赤字、子どもの援助といくぶんかの貯金で補っています
- ・年金だけでは赤字、アルバイトで何とかくらせる
- ・楽でない。年金削減政策の中で先の見通しが暗くて、つい財布のひもを締めなおして買い物は 2、3 日に 1 回にしています。子どもも自分の生活を守ることで精一杯、非正規の子どもがいるので将来を考えると心配でたまりません。本人も不安に思っています。
- ・働いているときは良質のものを買えたが、いまは値段で判断、安いものしか買えない。見切り品コーナーを見て 3 割引き、半額のものを買う。映画やコンサート、旅行も我慢の生活で文化的とはほど遠い。
- ・旅行も行けない。服も娘のお下がり。
- ・医療費負担の増などだんだん暮しが圧迫されて不安です。軍事費でなく、福祉や教育に回してほしいものです。
- ・70 歳以降、食費以外ほとんど何も買っていない。
- ・習い事も貯金もできているが、夫が退院したら…
- ・障害者の主人がいる時に医療費に追われ、貯蓄がなくなって現在に。主人は亡くなったが自身の年金では貯金はできず、何かお金がある時はどうすればいいのか不安。
- ・夫と私の年金を合わせて何とか暮らしているが、旅行も外食も我慢、毎日質素な食事で済ましています。この先どちらかが介護となったらと毎日不安です。
- ・衣類はほとんど買わない。食料品も値引きしたものを購入。(追加) 退職してから物価高や年金が下がったこともあり、食料品以外は買えなくなった。年金だけの生活はどんどん追い詰められていくような気がしている。国保、介護保険が高すぎる。(70 歳)
- ・現在は困らないが、このさきですね。
- ・物価が上がる、年金は下がるという矛盾。安心して老後が送れるようにしたい。とりあえず今の生活の維持が精いっぱいの中で将来の生活不安はとても大きい。
- ・物価が上がる、年金は下がる、税金の使い道をもっと考えてほしい。

- ・血族者がなくまったく1人暮らし、問題が起きたら困ると心配しています。
- ・介護施設の閉鎖が心配。
- ・いっぱいありすぎる
- ・庭の掃除ができません。草刈りができません。

東山

- ・物価高で大変。81歳
- ・同居の息子は収入ゼロ。82歳
- ・介護保険料が高すぎる。84歳
- ・物価が上がりがり食費節約に頭を悩ませている。体がきついが、収入を増やすためにパートにせいを出している。71歳
- ・敬老乗車証元に戻してほしい。宣伝活動をもっとしては。81歳
- ・血圧高く頭痛、雲の上を歩いているような不安定。ドクターは自律神経失調症と。77歳
- ・一人暮らしが不安 64歳未加入

山科

- ・町内に防犯カメラの設置を（百々学区 菱尾田東）
- ・山科駅発の京阪バス 29番が花山稲荷バス停にも止まるように（裏面に）お世話になっています。日頃思っていることを聞いていただけるだけでもありがたいです。
- ・私の年金は、20代に病気でそれ以降はアルバイトなので年金は非常に少ない。保険料、介護保険料を引かれた後、医療費に使用しておりますので少しの残金です。「ガン」で11年、日赤で、後は様々な病が出て検査料が高くて残るものも少々です。物価、敬老パス代、医療も高くなる一方、年金から引かれるのがあり大変な日々です。富裕層は別にしても、困っている庶民の暮らしを考えてほしい。
- ・現在は休み中ですが、落ち着いたら民医連の鍼灸訪問にも再度来てもらうつもりです。
- ・家族、親戚、友人、ご近所、年金者組合の人たちと電話で話して、気持ちが少し楽になります。
- ・以前は色々な催しに参加させてもらい楽しかったのですが、今は病院に行くのだけで寂しいですが、電話での対話で色んなことを話し合えて少しはほっとしています。（欄外に）字が見えにくくてすみません。関節の間の軟骨の●病で指、ひざ、肩など痛む。
- ・夫の年金（国民年金）は私の年金より少なく、医療費、介護費等、毎日少ない貯金を切り崩している。生活に不安を感じる。
- ・介護利用 1カ月 2千円
- ・年金が少ないのに年金から引かれる額が大きい。特に敬老乗車証 6千円。
- ・介護利用 自身と家族で 1カ月 3万円。
- ・自身の介護利用 1カ月 2千円。
- ・年金を上げてほしい。日常生活が今後、とても不安です。
- ・（暮らしが苦しいに○）母親の施設の分を出費
- ・年金以外の収入はなし
- ・（負担とを感じるものは）特になし
- ・（夫と）二人とも足が悪く通院（府立病院）が大変。時間によりバスがなく、タクシーに乗るのは年金生活者にとって痛手です。
- ・普段食べているお菓子、マクドなどが値上げしている。電気代、ガス代など値上げしている（何でも有料化を含む）

- ・ワクチン注射の有料化なんて冗談じゃありません。なんでも有料化になると注射を受ける気はありません。軍事費倍増などに使うお金があれば、私たちの暮らしに回してほしいです。
- ・最近、衣類を買おうと思ったら、お金がなく余裕がないです。鍼灸治療値上がりしました。
- ・認知症のとらえ方、ご近所の認知症らしい方に、前向きにどうかかわったら、声のかけ方をしたら良いか考えます。
- ・食費を削り趣味の費用に充てていたが、食材の値上げで、趣味を減らさざるを得ないかと苦しい決断。
- ・貯金するに至らず、何かあったら…と不安ですが。
- ・夫の年金と合算で何とか生活している。
- ・通院は3か月に1回内科通院
- ・持ち家があるので家賃がなく、普通に暮らせてます。
- ・家族の介護利用1カ月4万円
- ・「困りごと」いっぱいあります
- ・義母と夫がほとんど外出しない。夫は週2回リハビリに来てもらっている。
- ・コロナ禍で外食や旅行が制限されていますが、以前からよく行く方ではありません。
- ・介護保険の利用がどんな時にできるか、説明会等をして聞かせていただきたい。
- ・年金額が少ないのに保険料が高く、10月から医療機関の窓口負担が2割になり大きな負担となります。
- ・同居の娘が非正規の仕事とか、ときには足が痛いとかで休み、収入が途絶えたとき
- ・娘は非正規の仕事、ブラックな仕事が多い。
- ・医療費が高くかかってくる
- ・自身の介護利用1カ月200円
- ・負担を感じない
- ・外出するが以前より減少
- ・家族の介護利用 限度額上限4万4千円。
- ・自分が年金を受給するまでは、制度がこんなに改悪され、受給が先延ばし、受給額が減少されているとは知りませんでした。ですから体はしんどいのですが、続けられる限りと仕事を続けている現状です。物価の急上昇にも年金が減るのっておかしいですよ！
- ・飼い猫の病院代に、毎月十数万円必要だった。
- ・医療費、食費など円安のため、その他もあり、生活に不安を感じています。コロナも相変わらず終息せず、ウクライナ、ロシアの紛争も世界中が影響を受け続けています。1日でも早く終わるべきです。
- ・年金では生活が大変困難、年齢が高くなったら、補聴器、眼鏡などの心配があります。

伏見

- ・貯金の切り崩しが大きいボランテアや趣味の活動をしている。
- ・年金は普通の暮らしが出来るが、古い家の修理や給湯器の故障、車検や修理などは貯金の切り崩しをするしかないです。
- ・日常生活はなんとか切り詰めてやっているが、突発的な事、家の修理や病気が出たときのゆとりなし。
- ・私と夫の年金を合算して何とか生活している（2人とも低年金）

- ・一応家もあり、食べてはいける。でも貯金を切りくずし減るばかり何歳まで持つか心配。旅行や趣味（和太鼓、手芸、大正琴）にお金を使いたいが使えない。補聴器 12 万円はアベの 10 万で買った。いいのか悪いのか。
- ・田舎の土地の管理などや、付き合いにお金がいります。いつまでもアルバイトをしています。
- ・補聴器を買いたいが高額すぎるので躊躇している。
- ・息子家族が東京で遠く離れており、今私は一人暮らしなので先行きの方針に踏ん切りが付かず迷っている。
- ・50 歳で仕事をやめた。(カウンセリングの勉強のため) 年金が少ないのに「いいな、とか、沢山もらっている」とか言われる。もと看護職だからそう思われるらしい。敬老パスが 1 万円になった。許しがたい。

右京

- ・死ぬまで働き。生活保護受給か働かなければ終わる。江戸時代と変わらない！
- ・安心して暮らせる年金がほしい
- ・エンゲル係数が非常に高い。衣料などはがまんして、しきれなくなったら新しくする
- ・息子がお金を入れてくれているので、やっつけていける。
- ・当方、高齢であちこち不自由で歩行補助器を使用しているためバス券があっても自由にひとりでバスにのれません。それに敬老パスが高く大変です。ほとんど現在通院はタクシーです。
- ・家が古くて地震に耐えられず、引っ越さないといけないが、老夫婦に貸してくれるアパートがあるかが心配。
- ・旅行や趣味のお金を年金から出せないなので、バイトをしている。年金は、食べる・日常生活するだけでカツカツ。
- ・通知が来た医療費（窓口負担）や敬老乗車証値上げはあまりにも値上げ率が大きく、先行きに不安を感じる。
- ・腎臓系の持病があり、サ高住に入居。食事療養で、低たんぱく米（1 食ずつパック）など、約 1 ヶ月分購入しなければならず、通院費も含め、支出が多く、全くゆとりがない。
- ・日々の暮らしは OK ですが、固定資産税、健康保険料、介護保険料 etc。朝の洗面時の水は洗面器にためて洗っています。蛇口出しっぱなしで歯みがきなどはせず、2 杯の水で洗います。でもびびるものですね。
- ・病院へ行く回数多い。
- ・食材費、光熱費、高い。
- ・リクレーションがありがたいです。生活の中のゆとりになっています。
- ・ほとんど娯楽につかっていない。使う余裕がない。生活にゆとりがほしいが、この収入ではムリ。
- ・老後の不安と物が。
- ・老後の不安。物価高。
- ・65 歳から医療費の負担を、収入に合わせて 1 割とか 2 割にしてほしい。消費税を下げしてほしい、物価が高すぎ。
- ・医療費が 3 割の枠に、医療費が良くいる。
- ・マンションが築 40 年を超えて、色々設備の補修が続いている。このまま今のマンションで住み続けられるか不安。
- ・病気が多いので医療費がかかります。これから先、払えるか心配です。
- ・働かなければ生活保護所帯より大変！！

- ・物価が高くなり、見通しがつかずバス代は高い！医療費も倍になり、これは老人にとって大きな打撃。介護保険料、税金は、年金より天引き、介護保険改悪案が出ているとか。その年金も年ごとに減らされる。やっと仕事から解放され、楽しい老後を！と思っていたのにこんな老後が待っていたとは。
- ・買い控えは確かにあります。服、旅行など。
- ・家屋が古くなって、あちこち修繕で困っている。
- ・このまま年金が目減りし、人口を減り、続ける日本に明るい未来が見えない。まだ何か働かないといけない焦燥感がある。
- ・毎日買い物に行っていました、2日か3日に買い物をする様にしています。毎日行くと、どうしても、余計な物を買ってしまうから。
- ・2年前からグループホームに入居した事、一人息子が近くに住んでいる事、普段の生活には困った事はない。要望として、時々、レクレーションで、いろいろの所へ行ける事が楽しい。年を取っていつ歩けなくなるかわかりませんが。時折には、コンサートや観劇、演劇、映画等にも行きたい。日常生活にかかる費用が家賃を含め月々決まっているので助かっている。電気代など多くかかったときは、入居者割り勘にするので。
- ・公共料金（電気、ガス、水道）食料品でほとんど生活費として年金は消えます。遊ぶゆとりはない。今後、老後の病気、入院があるとすれば不安は大きい。
- ・これから先の事、考えると不安です。まあ、なるようにしかならないので。今日を大切に。
- ・年を重ねることで、これから色々増えてくるばかり、相談できる人との交流。知識も大切です。いつもご苦勞様です。楽しいことをする体力・気力なく、何とか暮らしている。
- ・医療介護の悩み
- ・年金あげてほしい。交通費2倍は高すぎて苦しい！国民年金2人合わせても物価が高すぎる。
- ・1人暮らしで国民年金だけではゆとりもなく、さきがこわい。年金とあと3年は共済等退職金が入るので良いが、あとは・・・。
- ・交際費が重なりと苦しい。
- ・年金がだんだん少なくなってきました。介護保険も高くなり差引されたら手元に入るのがすくないです。物価高で生活が前より苦しくなった。
- ・母を見送ったばかりで介護の大変さが身にしみました。介護制度が今以上に改悪されたらと自分のこれからが不安でなりません。
- ・コロナになり医療が受けられず困った。男女の賃金差が大きく年金がひびくのでなんとかしてほしい。
- ・年金金額が年ごとに少なくなって大変です。あげて欲しい。医療費も1割か無料にして欲しい。働いている時、税金等多く引かれていたのに、その分を使って欲しい。
- ・心身ともに自分のことができなくなった時 ・安心して入所できる施設や安心してラストまで自宅ですごせるようにしてほしい。
- ・あまり服を買うとか、旅行とかしていないので、これが「普通」と言えるのか疑問。子の世帯に米など応援している。
- ・毎月赤字で預金を取りくずしている。年70万～100万。これからの暮らしどうなるのだろう。物価高・医療費の2割負担、介護の改悪、生活して行けません。屋根も老朽化いつ修理するか不安。水漏れも発生。誰に聞いても不安だらけ。電機器具の老朽化・家の修理・車の修理・物価高・給湯器の交換・毎月万のお金が必要（老朽化による）・医療費の2倍加。家計簿をつけているが、年間20万以上になる（消費税）。

- ・今は夫との2人分の年金で暮らして行けているが、1人になるとどうなることやら。食品、電光熱費もどんどんとあがり続け、将来に危機感を抱いています。
- ・医療費と介護費用、交通手段としてタクシー代、約3万円程出費します。

西京

- ・家賃が高い。減免できないか。
- ・娘二人の給料と年金暮らし。家賃はいらぬが築約30年の自宅。自宅補修などに版画ある。食費のみの生活です。
- ・25年間厚生年金を払ってきたのに生活できない。
- ・毎日風呂に行き、身を持たしています。
- ・息子が定年退職。年金未支給(65歳未満)、収入半減、嫁が勤めているので、なんとか暮らしている。
- ・スーパーの割引利用、自家用車なし、家庭菜園、衣類化粧品など節約。
- ・贅沢せず、衣類はあるもので。旅行はこの頃なし、コロナもあるので。
- ・介護保険、健康保険料、税金払うと残りは苦しい。
- ・通院は一か所のみ。それ以上は体力的にも金銭的にも無理。
- ・食生活、光熱費、趣味の活動など、一つ一つ思案しながら。生きる上で「ゆとり」が欲しい。
- ・子はパートで病弱。固定資産税が高く、さらに水光熱費が上がり苦しい。
- ・切り詰め無駄のない買い物をしている。貯えはない。
- ・これ以上物価が上がるのが不安。
- ・今は普通に暮らせているが、長生きすると破綻。親を看取ったら就活する。
- ・夫がグループホーム入居。月18万かかり私の年金で暮らしており、大変苦しい。
- ・息子破産状態で家も差し押さえられ何時競売に掛けられるか分からない。そのため息子・孫を二人の年金で養っている。
- ・自宅の修理費等考えるとゆとりがない。
- ・現在入院中
- ・今はまだ無いが、数年後には切実な問題になってくる。
- ・仮に二人が同時に介護を受けざるを得ないときの利用料金は年金だけでは支えきれず不安。公的保障の充実。女性一人になった時の生活の保障を望む。
- ・健康に暮らすにはどうすればよいか、気になる。
- ・年金者組合から連絡希望。
- ・病院行きたいが行くのが大変。薬が切れてもいけてない。年金者組合からもお誘いが無い。今までサークル活動を楽しんできたが、今どこで何をしているのかわからない。老兵は静かに去るのみでしょうか。寂しい。
- ・山に行きたいがバス・電車はコロナ不安。運転ボランティアして欲しい。年金者組合に入って貰えない。
- ・物価値上げで困っている。
- ・ゴミの問題。プラゴミを減らすことを考えてほしい。体力がおちてすぐ疲れる。

向日

- ・物価が高くなったら年金も上がるのが物価スライドと思っているのですが、そうではないのですかね？(65才)

- ・ 8050問題がある。子が30代で失職し3年になる。前の仕事で評価制度を非正規にも適用される。仕事が増えても賃上げがない。上位職や会社幹部が現場を見ずに売り上げ増を要求することに疲れたことが原因。夫の両親と同居し、子供は義母が育てることを夫とその両親で決まりました。おかげで私は定年まで働くことができ、大企業に勤務しました。労働組合があることで労働者の権利や保障が守られてきた。そして年金で暮らすことができます。しかし、国の制度で一定の収入があれば医療費2割負担、この一定の収入は低すぎます。生活するのに医療と介護が嫌でも必要になる年齢に追い打ちをかける悪政に「棄民」としか言いようがない。これでは若者が希望をもてない。私は思います。女性だからと差別はしない。男女ともに定時で帰宅して8時間労働で生活できる賃金を保障する。育休・生休をとれる仕組みと、生活保障・社会的地位・キャリア保障で若者に未来に希望を。(66才)
- ・ 後期高齢者が医療窓口負担2割になるのが苦しい。それだけでなく年齢とともに病院に行くことが増えていくのに。物価高が高止まりしない。これからどうなっていくのか、年金は減らされているのに。
- ・ 癌の術後のホルモン内服、CTやMR検査など医療費が高額で、家計の負担になっています。加えて、電気・ガス・水道代など公共料金や物価高でどのようになっていくか、先行きが心配。(71才)
- ・ 物が高くなりお金のへりが早い。ペットの品もあがり大変。(71才)
- ・ これから必要になる介護の制度がどんどん悪くなり、必要となった時に、希望するような内容の介護が受けられるだろうかと思えます。(73才)
- ・ さらに介護保険料が上がるらしい。介護をうけるのにもお金がかかる。軍事費より福祉に予算を使うべきだと思う。(73才)
- ・ 医療の負担が増えてきたり、物価が上がったり、その上体力が低下してきて不安になってくる。これらの現象がとうとう自分の事となってきました。(73才)
- ・ 子が資格を取るために学校へ通うことになった時も、母が老人施設に入ることになった時も、孫が私立の高校へ入学した時も、私の貯金をきりくずして資金援助してきたため、私の貯金は数十万円となってしまいました。私の老後資金や葬式費用はありません。今も子や孫の生活援助に私の年金収入の一部をあてているため、私自身は髪の毛は美容院へはいかず自分で切る。衣服は下着以外は買わない。同窓会や旅行へは行かないなど、節約していますが、これ以上、どこを節約すれば良いのか悩む毎日。(74才)
- ・ 夫は80代前半ですが今は大きな病気もなく、近くの開業医に月1回程度かよっている程度ですが、これからの心配です。(74才)
- ・ 健康保険や介護保険などの保険料の改悪に不安を感じています。(74才)
- ・ 今のところ有りません。(75才)
- ・ ひざが痛み歩行、立ち上がりなどに不安。将来いつ施設に行くか費用など心配。(78才)
- ・ 全般の値上がり！医療の倍（2割負担など）政府の軍事費（ムダなお金）アップは許さない！原発しかり！（78才）
- ・ 年金支給額を「健康で文化的な最低生活を営む」ことができるものに抜本的に引き上げてもらいたい。その為にも国の責任により、年金制度を大きく改善してもらいたい。65才以上の老人医療費は国の責任で無料にしてほしい。介護保険料も同様にして、必要なすべてが利用可としてほしい。(78才)
- ・ 医療費が2割負担となり、できるだけかかりたくないのですが、眼科・皮膚科へと行くことが増えています。高額療養費支給制度で18,000円ですんでいます。この額も上げられるでしょうし、ますます不安です。(78才)

- ・年金は減らされ、各種保険料や医療費等は上げられています。一時的にクーポン等配られても、抜本的な解決にはなりません。少なくとも消費税をなくすか、それも出来なければ前の5%に戻すべき。それでなければ私達は生活が守れません。運動として大きなうねりになることを願っています。(79才)
- ・夫は難病指定を受けているので医療費は少なくてすみませんが、私が入院した時はやはり大変でした。今後身体が悪くなったら本当に心配です。今政府は軍事費拡大を始め、コロナの費用、何かにつけ年金を減らすことをねらっています。これ以上年金を減らされることには絶対ゆるさない取り組みを進めて下さい。(79才)
- ・体調が悪く3か所の医院へ通院中。医院へ行く手段や待ち時間が大変で、殆ど半日仕事で、疲れて食事の用意もいい加減になる。その上に買い物に行くのが大変で困り事が多い。(80才)
- ・夫が初期の認知症で要支援I認定。男性の居場所がほとんどない。(80才)
- ・地域的に分かれて井戸端会議。何でもいいから話し合う場をもってほしい。(80才)
- ・向日市に医療機関が少ない。(80才)
- ・年金は下がるし、物価は上がるし。お医者さんには2割負担になり将来が不安。消費税5%にしてほしい。(82才)
- ・庭樹の処置が老体には厳しく、仲々放置状態で難儀している。(84才)
- ・コロナの頃に人工関節手術をし、前にしたのとで、両脚人工で杖をついて歩く。その時の趣味などすべてやめた。久しぶりに年金者のサークルに入れてもらい楽しくしている。話し相手のないことが淋しかったが、一人で近くを歩くと、景色・犬・旧知人に会えて、久しぶりに話をする人もありなつかしくうれしい。今は年齢を考えるといろんな集まりに参加出来にくく、自分の体力を考え、一人読書、折り紙ぐらい。ハイキングの案内がとてなつかしく読んでいます。手術あと、又少しずつ元気になって来た。今少し楽しい日々をと思っている。よろしく。(85才)
- ・10月からの医療費2割化が大変こたえます。(85才)
- ・介護保険や税金については年金組合で勉強会を開いてほしい。(85才)
- ・いざ困りごとが出来た場合、組合や知人に気安く話せる様な仕組みに常になってほしい。(86才)
- ・訪問リハビリを利用している。三度の食事をつくらなければならないので一日出かけることはできない。(86才)
- ・男女の差なく年金が出ることを願います。同じ職種によってはそれ以上働いている女性も多いと思いますよ。(年齢記載なし)
- ・自営です。コロナで売り上げが減少し、補助金でなんとかしのいできましたが、家賃や家のローンに消えていったのに税金や保険料の収入があったとみなされてとても上がってしまいました。国民の生活が変わり客は減る一方です。(64才)
- ・とりあえず健康なので節約すれば普通に暮らせるが病気の不安があり、この先は見えない(65才)
- ・最近の物価高には困っています。光熱費の値上がりは家計にとって苦しい(65才)
- ・光熱費、物価が上がりで家計を圧迫している。食生活が節約にはできない(67才)
- ・夫と近県への1泊旅行が可能(70才)
- ・文化・芸術に使えない(71才)
- ・なんとか食べられる程度の年金です。電化製品が故障したり、電動自転車のタイヤ交換などの出費が困ります。本などもあまり買えず、文化的生活にほど遠い生活になっています(72才)
- ・何とか普通に暮らしているに○をつけたものの、日々物価はぐんぐん上がっていて、買い物にはとてとても苦勞します(73才)
- ・衣食費はあまり使いません。家があるので助かっています。コロナの影響もありますが、交際も

ほとんどない。(73才)

- ・夫が現役のため何とか暮らせています(74才)
- ・同居する子・孫に生活費の援助をしているため、私自身にかかる生活費を減らさざるをえない(74才)
- ・夫も国民年金なので(74才)
- ・普通とは言えギリギリな気が致します(75才)
- ・二人とも要介護Ⅰ、要支援Ⅰの身体。今のところ月1回の医療院ですんでいるが先に保険料や介護保険の増額の不安がある(77才)
- ・今の年金で蓄えができない。今の一人暮らしが出来なくなった時の準備ができない(78才)
- ・食費と交通費は必需費用と思っているが衣類は下着以外貰い物で済ませている(78才)
- ・夫の年金も少なく苦しい。食材はいつも半額セールを購入。ちょっと気晴らしに行楽などに出かけたがそんなお金もなく、もう何年も行ってない。映画や演芸、音楽などが大変好きなのだが、もう何年も行けてない。(78才)
- ・日々物価上昇を実感しています。普通に暮らすことも余裕がなくなりつつあります(79才)
- ・娘と娘の子2人と同居していて、食費や光熱費が生活費に占める割合が高く、毎日が大変(79才)
- ・夫が高齢だがまだ働いているので、今のところは生活面の不安はない。しかし夫が亡くなれば生活は苦しくなると思う(79才)
- ・旅行に行きたいがまとまったお金がないので少しずつタンス預金している(79才)
- ・現在は夫の年金で生活できているが、物価高、介護・医療費が増え、将来事を考えると、何でしまつすれば良いのか考えるが、どれもこれ以上削るところがなく、不安な毎日を過ごしている(80才)
- ・2人世帯でなんとか生活しています。1人の収入では大変になると思いますが、自宅のため家賃がいらないので、生活できていると思います(86才)
- ・医療費が高くなったので大変。これからは生活面に苦しくなる部分が出てくる。食費とか治療回数を考えない・と。今でもそんなに行ってるわけではないが・・・

長岡京

- ・高齢者の施設は、年金で入れるか等、将来の不安が大きい。年金が減らないシステムがほしい。
- ・介護(高齢者)施設が少ない。年金で入れるのだろうか。今のままでは不安だ。年金も減っている。
- ・医療費が重なると、大変である。
- ・普通にという水準が今一つ分かりにくいですが、物価高騰の今、食費等かなり削っています。また今後家庭のメンテナンス等に多額の出費が要りそうで心配です。
- ・急速なIT化で自分自身もまわりの高齢者の人たちが“情報難民”になったり、一億総監視社会になる危険性を感じています。不安を感じておられる組合員さんへの支援も必要かと...
- ・病気になった時、十分な医療や介護が受けられるか心配である。年金者組合でも介護の学習会を持ってほしいです。
- ・消費税を上げ、物価高本当にどこまで国民を苦しめるのかと... 食品値上げは、すごい量が少なくなり、物は小さくなって値段は高くなりびっくりです。
- ・年金が毎年下げられるのに腹が立ちます。色々支援が言われていますが、消費税減税するのが一番だと思います。医療費が1割になり喜んでいたのに、早くも2割になり大変です。年をとってくると医療費がかかるのに何を考えているのでしょうか。

- ・夫を介護しています。週3回デイサービスに行っています。介護費も色々と上がっています。医療も月2回定期訪問を、そして歯科も訪問診療を受けていて2割になり大変です。政府は高齢者をもっと大事に見てほしいと切実に思います。私も腰痛のため通院したいのですが、介護の為通院できないことが多いです。
- ・孤独な毎日。終末期はどんな生活になるのか不安です。入院も、老人ホームにも入れず、訪問介護は安心できるのか、心配です。
- ・生活できる年金を保障してください。お願いします。
- ・膝を痛めた時、リハビリを補助してくれる所が少なくて困りました。近くにそんな所を（公立）でつくってほしい。リハビリをしないと、介護の必要な人が増えます。
- ・医療費が多くて、暮らし向きがむつかしいです。
- ・5年前にアンケート調査がありましたが、その時から比べてどのように調査の意味が異なるのでしょうか。当時のアンケートの成果や課題など上記に記入はされていますが、具体的に女性の生活の変化が、アンケート結果からはわかりませんでしたので、今回はそうならないよう生かされたい。支部の意見を本部の方にとりあげられることを願っています。
- ・夫の遺族年金が多少はいるので、まあまあ状態ですが、余裕はなく将来への不安（いつまで健康で生きられるのか）は、常に持っています。安心して老後を送りたい。
- ・近くに買い物できる所がなく、買い物に行くのに遠い。
- ・母が介護付き有料老人ホームに入居して1年。今は母の貯金で何とかまかなえているが、底をつくのは目に見えている。社会保障をおさえたいという政府の考え方がアカン。国民みんなに安心して生活してもらうためにどこから財源を確保しようか。ア！そうだ！減らせるのは軍事費だ！しっかり外交をやってどの国からも攻められないようにして、軍事費を削って社会保障にまわそうと言うのが、本来の政府の姿のはず。国民の安心・安全は社会保障や教育費負担軽減からくるのです。
- ・旅行も行かず、衣類も購入してない。文化的な楽しみ（コンサート、映画、演劇等）行けてない。
- ・夫が毎月遠距離介護に行きます。交通費等の負担もあり、体力も必要で老老介護は大変です。
- ・現在は、夫婦ともに自立して生活することができていますが、毎週医者へ通っています。健康保険料が1割から2割になり通うのを減らさざるを得ません。
- ・離婚による（10年くらい家庭外で就業あり）但し外で働いた以上に多忙、家庭教師などもしたが、年金に反映せず生活保護以下の年金に。子ども（3人）援助があるとはいえ、子どもたちも非正規雇用、自営、独身など援助を受けていても申し訳なく、子どもの老後にしわ寄せを悩む。
- ・買い物、スーパーに行くのに、タクシーが必要なので公営の介護タクシーのようなものが欲しい。敬老タクシーかな。
- ・物忘れが多くなってきて、不安に思うことがある
- ・病院に行く。1万円以上のくらいのものを買う。旅行その他娯楽的なことをする。こんな事が生じたらもう貯金を切り崩さないといけない。
- ・これから夫婦どちらとも体力、気力衰えていくに従い、介護も必要となります。そんな時に、気軽に相談できる場があるといいなと思います。

大山崎

- ・もっと行政に対する働きかけと議会傍聴などで積極的、定期的、協力的に、（89歳）
- ・1人暮らしになったとき生活していけるか心配である。（74歳）

宇治久御山

- ・(何とか普通にくらしているに○をしたが) 旅行や遊び、高額の買い物等は一切できない、そういう生活はむしろゆとりがないということかもしれません。
- ・(何とか普通にくらしているに○をしたが) 普通に暮らしているとは言っても、水光熱費を極力減らすよう常に意識しているし、食料品は広告の品か、値引きシールの張られたものを買う。コロナ禍ということから、旅行はこの3年間ゼロ。ヘルパーという仕事柄、感染リスクを避けるため、演劇や映画など文化的な活動もゼロに近い。もともと外食習慣は経済的な理由から無いが、友人との会食も兄弟姉妹とのつきあい、孫を遊びに連れていく機会も現在ゼロなので、月々の収支が赤字になっていないように思う。健康を維持するための日々の運動も、フィットネスクラブなど利用するとお金がかかるので、もっぱら自宅でストレッチや筋トレ。本も読みたいものも図書館のリクエストで何カ月も待ち、めったに買うことはない。被服は(さすがに肌着は傷んでくれれば買うが)娘から誕生日や母の日等のプレゼントに頼っている。これって普通だろうかと考えてしまいます。(裏面に)野菜は近所で何軒か「百円野菜」を出しておられるので、まず一番にこれを利用し、国産のものを買います。本当は産直運動を守るためにも、もっと産直品を利用したいところですが、今以上に増やせないのが心苦しいです。

「京都年金者しんぶん」9月15日号の夕映え(KA)記事を読み、その通りや!と共感しました。世界人助け指数という言葉も初めて知りましたが、114カ国で最下位とは!見知らぬ人に親切にしたか?→yes、どこかにカンパしたか?→yes、ボランティアしたか?→yes。人助けしようという気持ちができるには最低保障年金と、同一労働同一賃金が重要、その通りですね。年金者組合員で生涯いようと思いました。

- ・物価の高騰
- ・介護保険の2倍化に怒っている
- ・年金減ったら困ります
- ・医療費75歳から3割負担はやめて。60歳からでも1割にしてほしいのに。
- ・医療
- ・医療費高い
- ・生活費
- ・年金で入れる施設がもっとほしい。
- ・年金がこれ以上減らされることの無いように頑張りたい。イズミヤが無くなると高齢者のたまり場なくなるのは困ります。買い物難民もたくさんおられます。(裏面に)宇治市は私たちの知らないものはお金をつぎ込んでどんどん作り、高齢者が安心して集まれる集会所はどんどん減らす。こんな市政を変えたい。100円や200円でバスに乗り放題で、年寄りが元気になるれば医療費も減るのに。
- ・軽い脳梗塞のため食事の仕方を忘れて夫に任せていたが、骨折で入院したため介護ヘルパーさんをお願いしている。(裏面に)10月から窓口負担が2割となり負担が増えそう。(通院は月1回)
- ・(何とか普通にくらしているに○をしたが)でも予定外の出費などがあるとやりくりにとっても困る
- ・文化的なことに回す余裕がなくなっている。
- ・出かけることも減っている
- ・役員やお世話役の皆さん、ありがとうございます。ご苦勞様です。お便り作成や発行、大変なことと思います。いつも参考になる記事を読ませていただいています。
- ・宇治市の交通問題、なんとかしたいですね。
- ・正社員として定年まで働いて年金を納められてきた方が寡夫(婦)となった場合、遺族年金か自

分の年金かというようなことをよく聞きます。女性も働いてきた自分の年金は受け取る権利があると思います。どちらを選ぶのかの問題ではないと思います。専業主婦も夫の年金の何割かでなく、生活できるだけの年金を支給してほしい。

- ・高齢者施設の充実と拡充。地域でのつながった活動。
- ・(未婚の子と2人暮らし) 未婚の子に収入はなく2人の生活は年金だけなのです。
- ・年金で入れる介護施設がもっとほしい。
- ・2人の年金収入なので何とか普通に暮らしていますが、ひとりでの暮らしでは大変だと思います。
- ・いろいろなサークルがあり、自分の体力や趣味に応じて参加できることはとても良いことだと思います。人と出会い、話すことが元気のもとになります！
- ・娘の家に同居しているので家賃はいらない。(介護費用にはデイケア含む) 通院しているのは高血圧と足が悪い(検査中)。手すりは助かっています。旅行先の風呂などでも手すりがないと大変困ることがある。たいていありますが。
- ・物価がどんどん上がってきているせいか、じわりじわりと何とか普通に暮らしにくくなってきました。
- ・消費税やめて。認知症がすすんでいる
- ・その他は夫の賃金
- ・ほとんどの女性が、家事労働・育児などケア労働を担わされ、個人として厚生年金や共済年金と縁がなかったという人も多いと思う。ケア労働は人間生存の根源に一番かかっていると考えられる。国民全てが生きていける年金制度を、新たに構築することを希望します。

城陽

- ・家族5人共に(持病で)通院中。医療費がバカにならない。
- ・楽しみ事でお金を使う時、貯金をとりくずしたり又、孫に何かしてあげる時(誕生日、入学、卒業など節目)も貯金から、個人年金(生命保険で)が少し入るので、助かるが生活費が、ぎりぎり、何もしていない。未婚の子がいるので医療費等とか、いろいろかかる
- ・年金が今年少なくなっている、どうしてか？
- ・旅行や食費を削っている。
- ・毎日の食事は、その日の特売品をメインにして献立を考えている。映画や演劇鑑賞などの趣味を楽しむ機会が激減。(鑑賞料金も交通費も高い)
- ・複数の医療機関を受診している為、検査、薬代が嵩む。又やむを得ずペットを飼っているが、保険加入していないので、こっちの医療費も大変である。
- ・年金生活2人でやっとだったが、1人の年金だけになると、きびしい。貯金とりくずしている。
- ・かなり節約している部分があります。同居の息子が(扶養親族)の状況なので。
- ・娘の生活援助、医療費等でそんなにゆとりはないです。
- ・年金生活で住宅修理、電化製品等、故障や買い替えで、まとまった費用が必要になる、この物価高はかなり負担になっている。
- ・高額医療で治療を受けている。食生活に注意を要し費用がかかる。デイサービスを利用し介護用具の貸し出しを受け、ヘルパーのお世話を受けている。
- ・これ以上医療にお金がかかったら、どうしようと悩みます。丈夫だと長生きもよいけれど病気で長く生きていくのは困難です。
- ・つつましく暮らしています。
- ・今はなんとか普通に暮らせているが、これ以上物価があがると苦しくなる。節約してなんとか暮

らしている状況です。

- ・自分の年金の事もさることながら、子供達の収入も不安だし、まして年金制度がどうなるのかと思うと・・・
- ・自分がこれからどう生きたいか自分の指針みたいなのもてなく、ぶれぶれ、家族の事第一に考えて生きているが本当に家族第一？って思う時がある。
- ・主人の介護に来てもらってはいるが食事など（？続きは）
- ・年金制度改悪により、将来の生活不安が増している。特に今の若者が高齢者となる時、日本はどうなっているか展望がもてない。
- ・土、日、祝はまだまだ続いているコロナ禍で、出掛けないようにしています。しかし、これからは散策に良い季節、気分転換にツアーを行ってほしい。
- ・今後、住宅修理や医療費が増えてきた時に今の年金では不安を感じる。
- ・病気通院していますが、どんどん悪くなっていった時、どうなるのか心配です。
- ・施設に入る為の見学へ行こうと思っています。計画して下さい。
- ・困った時はお互い様とは思っているが国保、介護保険、税金が高すぎる。
- ・今はまわっているが、これから先（80をこえてからが）のことが心配です。
- ・75才以上、医療費2割負担は大きな出費。年金減額と年齢による体調をくずし、病院受診の機会が増えてくる。
- ・一番困っているのは、電気関係に弱いため時折不自由を感じます。ひとりでの生活に若い人の来宅を歓迎しています。
- ・7代続いた家のお墓と仏壇が田舎に置いたままになっていて、その始末が気になる。
- ・男女不平等による賃金格差が、定年退職後にもずっと続くのが現状。これが改まらない限り女性の不利は是正されない。国民年金のみで家賃を負担している人は、どうやって、やりくりしても到底やっていけない。生きていることが難しい。制度として最低限の年金の保障をするか、生保を約束する必要がある。企業の内部留保金を活用するべきか。
- ・認知症が進み身体の自由が効かず健康状態が悪化した時、いずれはホームを利用する時が来ると思うが費用の面で不安がある。又、適正な選択の仕方がわからない。
- ・力仕事などで年金者の組合「絆」に助けてもらえること有難いです。①水道水の広域化、民営化にならないように。②医療費二割負担は困る。③年金が下がっていく。
- ・消費税廃止。医療費を安く。
- ・84歳になって夫を亡くし、ひとりぼっちです。自分でしっかりせよと自分を励まして生きています。足が動かさなくて遠出が出来ません。ひとりで家に居る時は新聞、雑誌を読み、趣味の文芸活動の書くことをしていますが。今は、まあ元気ですが、病気になったら大変です。
- ・介護保険、物価上がる。年金下がる。これではたまりません！今は介護の世話になっていませんが将来係る時には、ちゃんとして頂けるかと心配です。城陽はとても条件がきびしいとの事、頑張ってるなんて承服できませんから、よろしくご指導下さい。
- ・まだもらっていないが、年金は前より減額されている年金だけでは生活できない金額。
- ・子どもがなかなか結婚しようとしなない。

八幡

- ・交際費親戚付き合いを縮小している
- ・安心サポートハウス等の増設をしてほしい
- ・交際費が取れない

綴喜

- ・10月から医療費の窓口負担が2割になり、リウマチの持病もあり大変苦しい。高齢性難聴で補聴器が必要でも高額で買えない。
- ・バスの運賃が高いので、高齢者は、市内であれば100円でいけるようにして欲しいです。
- ・夫が後期高齢者、わたしは前期高齢者ですが、毎回の食事準備が苦痛となってきています。少しずつはぶき、食後の食器洗いのみでも夫にする様しむけています。
- ・できるだけ年金で生活できるよう心がけています。特別な出費のときは、貯金を使います。この頃は、貯金をよく使います。高い所の物が取れない。スーパーまで時間がかかる。
- ・これだけ電気、ガス、食料等の値上げに！やはり体のメンテナンスの為、病院は止められないので、ゆとりが全然無くなり老後の貯えも出来ません。
- ・夫と自分の年金ですごせる月もあるが、一年単位では、貯金を少しずつ切りくずしている。息子は非正規で働いているが、風呂のリフォームのローンを払ってもらっている。他の生活費はもらっていない。夫の視力が0のため同行援助を利用している。住宅の壁の塗り替えが必要といわれているが、頼めない。自分たちの貯金が無くなった時のことを考えると苦しくなる。しかし、息子の将来の方がもっと心配。
- ・毎年、年金受け取り額が少なくなっています。物価は上がり生活が大変苦しい。私達は人間ではないのか！怒りを感じます。数年先の私達の受け皿はあるのでしょうか？・自分としては、贅沢していないし高いものや美味しい（上等）のものは買わないし買えない。知人には、お金が無い無いと言っている人が、私よりはうんと上等のものを食べ外食が多く…人によって価値観は随分違うものだなと思う。
車を手放したので、今までサッと出掛けられていたのに、公共交通機関が利用しにくく、出掛けるのがつい億劫になる。今はまだコロナ禍がありよけいだが…。
- ・今までの貯金を弟の医療費で切り崩し、パートをやめた今、収入が無いため、貯蓄ができない。
- ・何をもってゆとりがあるのかは難しいところです。もっとお金をかけてほしいと思うことがあっても我慢することもあり、どうしても時は、貯金からの時もありと色々で、それで「何とか～」という実感です。
- ・年金者組合以外にも加入している会があり会費、新聞代の他に参加するたびの費用がかかるので、お金のことを考えて行きたくても我慢をしないとやっていけない。高齢になっても自治会の役員をしなければならない。体調の悪い人は別として、毎日元気に動き回っていても当番も役員も一切しない人があり許せない。蛍光灯の取替は、危険が伴うので府の方でやって欲しい。（府営団地に入居している。
- ・お金を使う要求も無く必要も無いため食費以外の出費はほとんど無い。
- ・公共料金の支払いを息子家族がしてくれているので普通に暮らせている。健康ではないが病院通いはしていません。
今のところ別にありません。先で介護の事が気になっています。
- ・体はなんとかほぼ元気ですが、足が悪いので通院するのにタクシーとかで行く。
- ・暮らしの実感……今のところ節約しながら何とか。60歳の時、前倒しで年金受取を選択しました。その時は、ほぼ72歳頃に満額65歳の方と同額になると計算し計画したつもりでした。しかし、今日までに年金は下がりっぱなしの事態が待ち受けていました。こんなサギみみたいな制度は許さん！…といつもぼやいています。（ちなみに来年72歳になるのです。）

- ・ 日々に物価高の昨今、政治が問われると思う。せめて、消費税の中でも食品にかかわる消費税のみ免除するとかできないかと強く思う。
- ・ 歩けなくなったのでタクシーを利用しているが、コロナ感染も不安なので最小限に止めている。活動は助けてもらいながら出来る範囲で細々と。歩けるようになりたい。
- ・ コミュニティバスを走らせて欲しい。(買い物、病院行き)
- ・ 今は夫の年金もあるので何とか暮らせているが、この先一人の年金(どちらが先か分からないが)になると生活が苦しくなる。物価がどんどん上がっているのに年金減らされるのは、おかしい。スーパーに行くたびにため息が出る。
- ・ 体のあちこちが痛くなり出し、不安度アップ! 子供、孫たちの世代に明るい社会を繋いでいくことができにくい昨今を憂いている。歯科に行きたいが、何とかなっているので我慢している。…歩いて行きづらい。一人暮らしで90歳。①足、腰が不自由になれば、二人の娘を頼るか、施設選びをしなくてはならない。②パソコンやAI 機器使いが出来ず資料の整理が出来ない。
- ・ 個人年金で割に不自由なく暮らせている。
- ・ 娘家族への援助(教育費・生活費)があります。若い世代が普通に暮らしていけるよう授業料引き下げや、パート労働を取り巻く税制度の改善をして欲しいです。
- ・ 物価は高騰し、年金は下がる一方、医療費は10月から2割に…一方、国葬に無駄金は使う。軍事費は2倍化。(これまで、これからも軍事費に使われるお金の多さ)
この国は政治が無いのでしょうか? 国民目線の政治家を選挙で選ばないとダメですね。一斉地方選で、悪い政治家(自・公・維)は落としましょう。

相案

- ・ 医療機関では、まだ補聴器は必要がないと言われるのだが、劇場やテレビドラマなどよく聞きとれないことが多い。(88歳)
- ・ 年金を上げて欲しい(70歳)
- ・ 医療費が2倍になるのでどうしようかと思っています。(78歳)
- ・ 難聴で補聴器をつけているがそれでも聞き取りにくいことが多く又年々難聴度がましてきている、耳鼻科や補聴器センターへ行って調整等してもらおうが一。何事にも消極的になってしまう(79歳)
- ・ 後期高齢者医療保険が10月から自己負担2割になりいくらかかるか心配です、今のところ大きな病気など内が、夫の健康状態や自分の今後について心配しています。(82歳)
- ・ 介護の認定が受けられない。(80歳)
- ・ 旅行したり文化的なくらしはできない、年金者組合への加入者が少ない、活動がみえない。パソコン、携帯の使い方についていけない、学習があればよい、定期的に、(74歳)
- ・ 衣食住は満たしているが旅行や文化活動はよほど精選したものだけに絞っている。年金の問題は難しいが基本的なことを中心にこまめに学習ができるとよい。楽しい活動がもっと多いと人を誘いやすいし動いてもらえる。(79歳)
- ・ マイナンバーの件(72歳)
- ・ 役(?)年位前から家全体が傾いています。修理をするのは今更遅い感です、私の体力が有りませんので家が先か命が先かが現状です。(84歳)
- ・ 今は預金を取り崩しているが将来は心配、医療費が1割~2割になり負担が大きい入院したいが大きかった、日常的に飲む薬代もかさんできている。夫の預金がほとんどないので大きな支払いは私の方に負担。地域に活動やサークル等に若い人の参加が少ない、若い人は働いていることもある(77歳)

- ・スマホを持たないので 情報にうとい生活です。(88 歳)
- ・物価は高騰するのに年金は減額され 医療費の窓口負担は2倍になったので苦しくなる。今のところ耳鼻科や歯科にかかるぐらいだがこれから先、いろいろと身体の不具合が生じてくるので不安、家屋のいたみや電化製品の故障なども次々と起こってくるだろうし心配。(79 歳)
- ・良い所、会の女性役員さんはコロナでも 年数回はいろいろと行事があり外出の出番があり大変喜んでます。ありがとう。(80 歳)
- ・現在の住居は、元山城大水害の時、家屋流失、全壊者のために建設された場所です。現在は木津川市からの借地ですので私がここを出る時は、更地にして返さなくてはと思います。自分の葬儀の事より、この土地の事が心配です。(84 歳)
- ・車に乗れる間はいいが、のれなくなったら 医者通いもできなくなるのが不安。来年、免許のきりかえ、どうしたものかと悩む、市役所へ行くため、加茂から直通のバスを！加茂は JR が通っているので、電車にのればよいと言われるが、家のちかくを J R が走ってるわけではない。木津川市は、木津だけではないと となりたくなる。(86 歳)
- ・近くに店が少なく、ほとんどの買い物は、夫の車でスーパーに行行って買っている？近くにあれば歩いて行くが、マイナンバーカードの導入には反対します？保険証もなくなると困るし多くの町医者はずぶれるのでしょう。情報が一つに集められ、管理されるような社会にはして欲しくない。スマホも便利ですが私はガラケーです。(77 歳)